愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(一日十五日)發行●電話番町千七百六十五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座壹壹三八一番

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麴町區牛ヶ淵公園内愛國婦人發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内良三

明治四十三年十月一日發行　October, 1st. 1910.

日本婦人の修養

(四)

▲將來の女子

吾々が今熱心公平に將來の女子に希望するのは、日本婦人として恥かしからぬ人格の修養であります。而して其の標準は如何と申せば、前代固有の女子氣質で則ち其の境遇に應じた實想を實行する事と、世の進化に伴れて上向する新思想が欲しいです。然れば、世の進化に伴うて向上する新思想は、何を標本とするかといへば、今世界中で最も着實な適切の例は、英國の中層に多い女流の人格であらうと思はれる。併しながら、男子と共に國運の發展を助成すべき女子であるからには、只我が前代の女子氣質と、英國一部の女子氣質とばかりで滿足が出來ぬ故、必ず我より古を爲す丈の獨創を以て、後の女子たる人や、世界の女子の標本となる位の抱負が無ければならぬ。

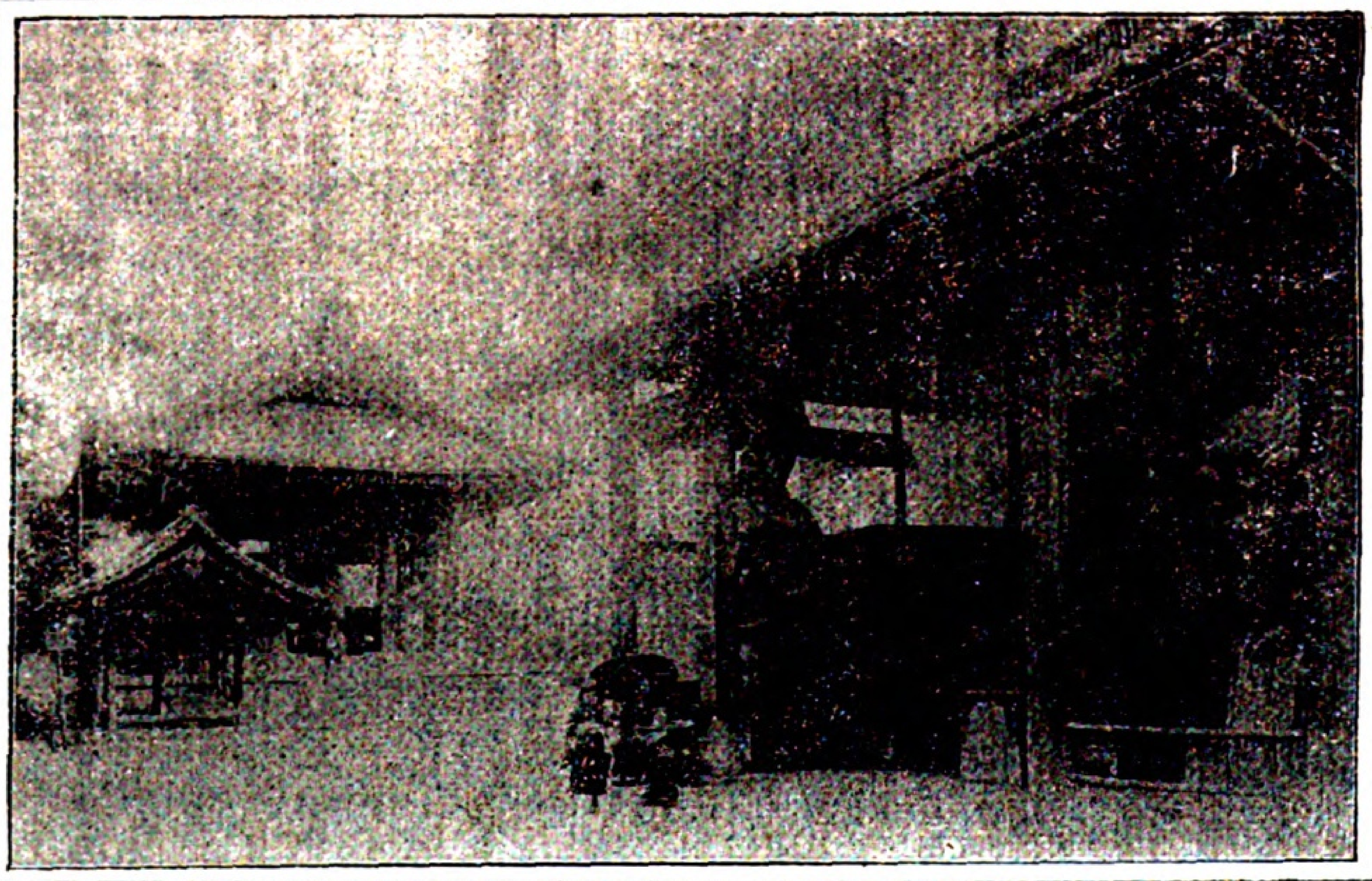
之を平たく申せば、第一は堅確した着實な意思を以て、其の天職を實行する謂で、家庭の内助と社會の改良とに怠らず間接に忠君愛國の實を擧げる事。第二は虛榮を去り、空名を斥け、時を惜んで勞を厭はず、禮を以て交はり、驕を以て遊ばず、公共慈善の業を助くるも浪費冗用せず、一家の經營は積極にして生産力を增す事、第三は以上の諸點に缺くる所なく、俗に謂ふ世話女房として、源氏物語の品定には合格するとも、家庭の團欒と子女の教育とに無能であらば、不具ですから、世の金言たる『良妻は一家の暖爐にして、賢母は百人の教師に匹敵す』といふことを忘れてはなるまいと思ひます。

▲婦人の副業

現代の女子は自から其の人權を認めて男子の奴隸でないと信じながら、男子より敬愛せらるゝ丈の天職を盡さないのが多いやうです。前代の女子は、男子と同等だの、女權の擴張だの、といふことも知らないが、其の天職をば十分に盡したから、常に男子に信頼られて居ました。其の外一家の副業も、大抵女子の擔任で農工商の人ばかりでなく、士の家でも内職があつて、五兩十人扶持の收入の三分一位、必ず軍用に貯へた者です。然るに今の婦人は、多く夫の家產なり、他の收入なりを目的にして、一身の幸福のみを期望ひ、只々親や夫の情愛に依頼り、子女を擧げると又之を期待にするから、一生妻たり母たるの權能も無く、一たび親子良人に別れると、自活が出來ぬやうになります。

それ故、將來の女子は、必ず妙齡の時代から、副業の素養をして置かぬと、一家非常の時は勿論、平常でも家政の經理に趣味が生らぬ。或る人、往時高等女學校を卒業して、某の家に嫁いた時、校長は其の某をも教育した人ですから、一日夫婦を喚んで、夫唱婦和の道より共同助營の方まで誨へて、妻には副業に『レース』の內職を勸めたが、妻は一年ばかり力めて從事して見た所で、日に五錢位の收入に過ぎないのに、一囘花見に行つた爲め二百日分程失うて馬鹿々々しいと言ひ出し、夫も同情して、十圓位は俺が二三日の給料を無いと思へば遊べるから、內職は一切廢せといつて、其の後細君は坐食で居たが、五六年經つて夫は病氣で勤務を一時止めた時、細君は二人の子を持ちながら又內職を始めたけれども、矢張一日の平均五錢に足らなかつたといふことであつたが、初めから續いて居れば、日に二十錢以上は得らるゝ技倆になるのです。副業は總て僅少の收入のものであるが、五錢の收入が一日十錢の小使金として、五錢で濟むばかりか、出入十錢の差になるから、結局小使金は零で用へる譯になります。又縱ひ一日五厘でも一厘でも副業があれば遊びの冗費が要らぬから、其れ丈收入たのと同じである。兎に角、國家に遊民の多いと少ないとは、忽ち大きな貧富の差になるから、收入の多少を申すでは無い、多い程好い事は無いが、少くとも遊惰に消光さないのが、忠君愛國の根本義であります。

今全國に二千六百餘萬人の女子があつて、內三分の一は副業の出來る人で、其の三分の二餘りは、多く遊んで居ると思はれる。何故なれば、右の三分の一は農家の女子で、是れは本業の外に、蠶か鷄か蜂が豚か、何なり飼養して居るのが多いけれども、工商の婦人や、殊に官吏會社員などの家族たる女子は坐食して居る。中には養鷄、製糸、編物、縫物、其の他の手工を內職にしたり、又は副業に依つて買ふべき品をも買はずに濟ます人もあるが、是は甚だ少數ですから、自今日本婦人の美風の一として、一般に副業を流行せるやうに願ひたいのである。然しながら、口の先での奬勵は功力の少ないものですから、切めては本會々員の各位が先づ以て一般の模範にならんことを望む次第であります。(完)



京都大佛殿及鐘堂

本號主要目次

▼日本婦人の修養(完)……
▼家庭の改良(上)……精華學校長 寺田勇吉
▼隱れたる手藝……山脇高等女學校長 山脇房子
▼夫に對する同情……男爵夫人 目賀田逸子
▼英米女學生氣質……女子高等師範學校講師 小此木松子
▼平素不用意の爲め誤られたる婦人の實例……中村高等女學校長 戸野みちゑ子
▼婦人病と貧血……ドクトル 富士川游
▼箏曲評釋 松の下風(十三)……京都大學講師 池邊義象
▼汚染ぬき法(二)……高山繁
▼小說 芳子(下ノ續)……三千子
▼講談 勝田新左衛門(四ノ四)……大島光利
▼其他和歌、俳句 雜錄、日誌等
▼挿畫……岡落葉

●本紙(附錄共)十八ページ

廣告

本紙從來の發行期日を左の通りに變更す

一日　十五日

明治四十三年十月

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢

家庭の改良　(上)

精華學校長　寺田勇吉

曩日、本紙記者の爲めに、學校敎育をして完からしめるには、先づ我國の家庭を改良しなければならぬ、と言ふことを語つたので、其の題目が、家庭の改善と言ふことに爲つて居つた。當時、余は家庭の改良に就て、余の意見を述べた筈では無く、唯漠然と家庭の改良の必要なる事を語つたのみである。今次は一歩を進めて、家庭の改良てふ題目の下に、少しく卑見を述べやう。

さて、余は明治三十八年に、愛國婦人會の隣地に、精華學校を創立して、爾來專心初等敎育に從事して居る。余の理想としては、學校敎育は家庭敎育の十分なる補助を得なければ、成功すべきもので無い、と信じて居るので、余は當校の兒童の各家庭の敎育の力を藉りて、可及的完全なる敎育を施したいと努めて居るのである。而しながら、現時の狀態では、未だ余の理想通りに行はれて居るとは、決して言ふことを得ぬ、現に獨逸帝國の如き、敎育が非常に進步して居る國に於てさへも、學校及家庭の敎育に就ては、理想通りの事が實行されて居らず、敎育者が其の改善に就て種々と研究しつゝあるのである。

それ故に余は、余の學校の兒童は必らず家庭から通學せしめて、往々寄宿舍の設立を望む者もあるが、一切之れに應じない、而して唯、善良なる家庭の兒童で無ければ、入學を許さないのである。

余の學校の入學試驗は、餘程奇妙である。先づ、こゝに入學を申込む者があると、其の母親の兒童と同行して來校せんことを望む、而して其母親を試驗するが如き有樣である。母親にして適當なる人物で在ると見れば、亞に其の兒童の身體の發育狀況と、年齡相當の常識の發達如何とを、ひと通り調査して其上で入學を許否する、と言ふことに致して居る、之が爲めにも、益々家庭の必要を感ずるのである。

何故なれば、元來學校敎育の基礎は家庭敎育に由來する、兒童が學校に入學する以前の敎育は、全部家庭に於て施されて居るのである、兒童が學校の生徒と成つても、家庭は其の敎育の一切を學校に委任せて、少しも之を省み無い、と言ふ理にはゆかぬ、兒童が學校に居る時間は短く、一日中の大部分は家庭に居るのであるから、母親に相當の敎育が無いとか或は學校の方針と反對に事を爲すとか言ふやうなことが在れば、如何に吾人が敎育に力を盡しても、唯々家庭の障害を受くるのみであつて、何等の效果も無いのである。

故に、家庭は常に、如何に學校は敎育しつゝあるかを見て、學校と其方針を同じうして行かねばならぬ。之れ乃ち、余が、學校敎育には家庭の敎育が相伴うて行かねば其効績を爲さぬ、と云ふ所以である。

之れに因つて、余は益々將來母親となるべき、女子の敎育の改善を望むのである。母親が理想的な婦人でなければ、家庭が矢張り良しく無いことは勿論であるから、母親か所謂賢妻でなければならぬ故に、余の希望として、將來中流以上の家庭の主婦は、如何なる婦人でなくてはならぬかと言ふに、余は、女子大學と言ふやうな、高い敎育は一般女子に希望仕ない、先づ一般女子としては、衣食住、衞生、經濟、裁縫、就中育兒等の事に就て、中等以上の學問を要する、乃ち現今の高等女學校を卒業したる後に、略一ヶ年間位高等女學校の學科を練習せしめ、一方には家に在つて、母親の手助を爲し家事に從事して實地の練習を積んだ位で澤山だと思ふのである。勿論此外に、一家の主婦と成るには、世界の大勢にも通曉して置くことが必要であるが、兎角高等女學校に於て、學理の原則を理解して之れを應用し、家事を整理し、子女の敎育を完ふし、夫を補助して行く事の出來る婦人ならば、妻と成つて我國家を發達せしめ、未來の大國民を養成する事が出來ると思ふのである。

將來、生活難が、歐洲の如くに烈しくなつて來た折は格別、先づ今日のところでは、中流以上の婦人には、高等女學校卒業後一ヶ年位の補習を爲れば、結婚年齡等の點より見ても、實に適當の時期であるから、一般には、餘り高い敎育を女子に授ける必要は無い、と思ふのである。

學校の兒童は勿論、生後第一に知らねばならぬ者は母親である、又男女の分業の上から言つても、男子は外に出で〻業務を執るが通例であるから、子供の世話は一に主婦に任せられる。子供が次第に長じて來ても、矢張り少くも普通敎育時代には、母親が其の敎育を引受けねばならぬ。古も今も、日本でも西洋でも同一であるが、實に兒童の敎育の爲めに最も緊要なるものは母親である。そこで、我國では昔から『國には賢臣、家には良母』と言ふ詞があり、林子平は『兒を見れば、親の品性は判る』と言つて居る、又彼の有名なるスマイエルは『母親の壽命は永久不死』と言つて居る、乃ち母親の性格は、單に其の人の一生で終るものでは無い、母親の言動、母親の品性及生活の方法は、其の子女の品性となり、習慣と成る。故に母親の壽命は永久無死である。實に余は金言であると思ふて居る。

古來、立派な人物の多くは、賢母の手に依つて育てられたものであると言ふことは、西洋の歷史に見ても、亦日本の傳記を見ても明白である。余は、以前歐米の敎育を視察したが、余には比較的獨逸語がよく通ずるからして、從つて獨逸國の家庭敎育の有樣を十分に研究した。歸朝後も、獨逸の家庭敎育に關する種々の雜誌を取り寄せて、絕えず研究して居るが、往々大に吾人の參考となるべき事がある。獨逸の國家が今日の如く盛大に赴いた、其の原由は敎育に在る、而し之れを小に能く分析して見ると、其の眞の根本は、獨逸には賢夫人が多くて、家庭の敎育が完全して居る、と言ふのに基く事を發見した。勿論、獨逸に於ても良いことのみはない、吾人の甚だ感服出來ない樣な事もあるが、大體から見ると、獨逸國の妻君には、遠く我國の妻君は及ばぬと思ふのである。故に余は、努めて獨逸國の家庭敎育の長所を執つて、我國の短所を補ふことが、現時の急務と信じ、以下獨逸帝國の家庭敎育を基礎として、余の意見を開陳やうとするのである。

隱れたる手藝

山脇房子

此程神田區西小川町二丁目に開かれました日本編物研究會と云ふのは、寺西綠女史の發起に係るもので、女史は九重編造花法の考案者で明治四十一年其著書を公刊ぜらたました、女史は斯術に關する熱心家で其後とても相變らず斯道の爲めには殆んど寢食をも忘れて研究を怠らぬさうでありますが、あれ程の苦心をされた事と作品の精妙なるものを見るに付けましても最少し世の中に知られなければならぬと思はれますが、不幸にして其苦心の著書さへも漸く出來上つたと思ふつかの間に國光社火災の爲め大半烏有に歸し廣く世の中に知られざることは同情に堪へぬ次第であります、女史は三十九年この方寺西編物女塾と云ふを開き同塾教授を爲して居られましたが何樣研究中に多大の費用を蕩盡せし事とて思ふ樣に發展を見るに至らず苦心の內に此度同情する方がありましたので以前の家塾を廢し改めて日本編物研究會とし其の第一着の事業としてこの講義錄を發行したればとてお持ちになりました、で內容を拜見しますと九重編造花と實用編物の二種で何れも同女史の講述に係るものですが誠に詳しく出來て居る樣であります會員は毎月第二、三の土曜日の午後會場に集り思ひ〳〵の研究が出來るのださうですから、家事其他の事情で通學のできぬ方などは至極適當な事だと存じます。別に實業部と云ふがありまして無料で敎授もし職業をも與へる樣に承知して居ります。尙ほ又其製作品等は販賣部で賣捌く順序も付て居るさうですが斯る結構な事業を發起せられたのは誠によろこばしい事であります。元來手藝は日本婦人の特長で、押繪刺繡造花等は早くから世に知られて居て、其技巧として觀るべきものある事は云ふ迄もないのですが、其內この九重編造花と云ふは在來の手わざに更に新しき一種を加へたもので、あらゆる名花珍卉を自由自在に編み出し、紅紫濃淡思ふまに〳〵色彩を施せるので一々實物について眞を探れ與を寫し生花に見まがふべき技巧を極めたものであると思はれます、まして此造花は唯に手藝界に新生面を開きたるばかりでなく趣味と實用を兼れそなへたもので器具や材料等も餘り多くはかゝりませぬ樣です、私の學校でも其內少々づゝの時間をさいて科目に編入して見やうかと考へて居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

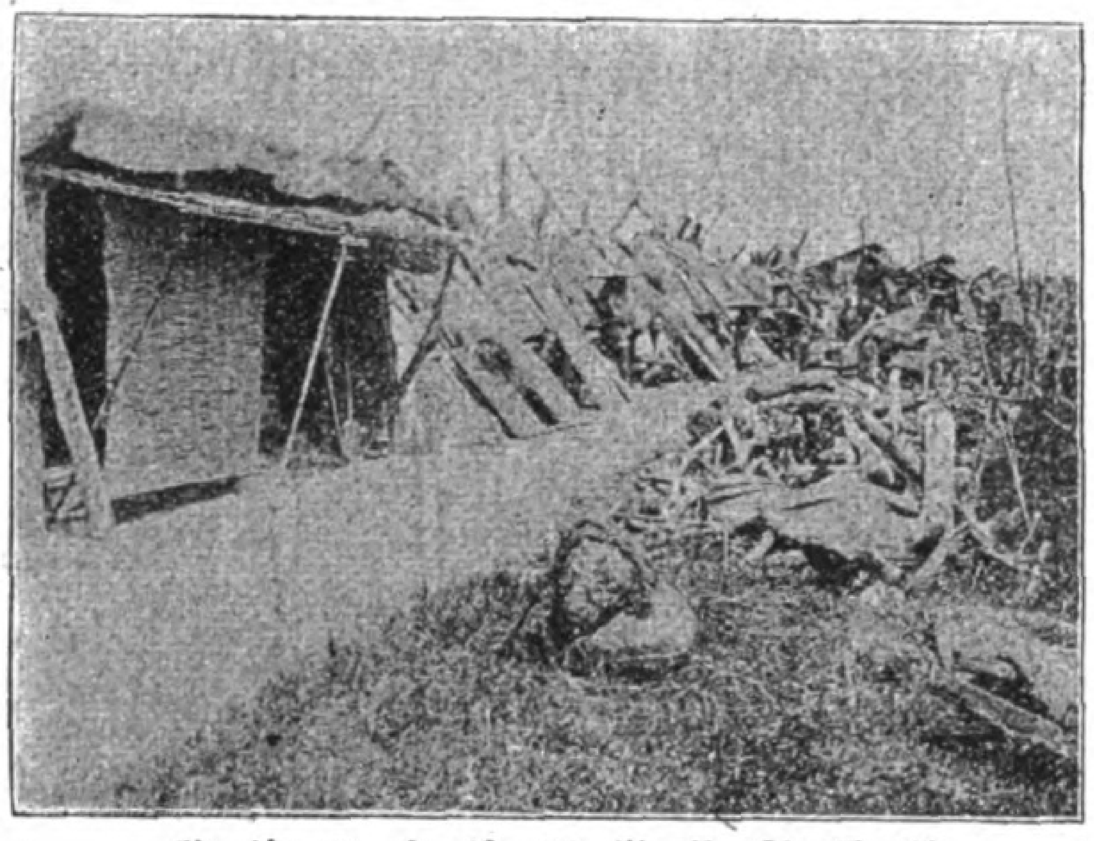
夫に對する同情

男爵夫人　目賀田逸子氏談

よく世間の奧樣方には、年中御自分の服裝などの上ばかりに浮身を窶して、御自分には資産とても無く、別に技倆も無い癖に、やれ何やらの會費、やれ指環、やれ時計、やれ香水、やれ白粉代などゝ主人が汗水流して齷齪と立働いて取つたお金を、何の苦も無く、身分不相應の贅澤に使つて了つて、お陰で主人には一倍の苦勞を掛ける方がありますが、私は斯廢婦人が大嫌いで御座います、それだから一朝夫に死なれた場合には、直ぐに困つて、サア明日からは何うしやうと云ふことになり、果は親族や知人にまで迷惑を掛けると云ふやうな事になるのです。

之れは、第一夫に對する奧樣方の同情が足りないからの事と存じます。若し夫に對する同情が深く濃厚で有ましたらば十分に家庭の消費高を節して、少しでも夫の苦勞を尠くするやうに致さねばなりませぬ。之れが妻が夫に對する同情の第一義で、妻が夫を助けると云ふ點は、之れより上は無いと思ひます。夫に對する同情が深ければ、何うしてあんな贅澤が出來るものですか。私は始終その心で家政を執つて居ります。

又、私はそんな奧樣方にお望致したい事があります。夫れは婦人の內で、何か繪を書くとか、刺繍が上手とか、身に藝を有つたお方がありましたらば、身分などは什麼でもよろしいとして、かせぐと云ふと何んだか妙に聞えますが、家事を治めて行く餘暇には、各得意の技術を現はして、多少の收入を得ることにして、其の收入で自分の服裝を飾るなり、避暑に行くなり、すきな事にお消費なさるやうに致したらと思ふのです。斯樣に致したならば一家の爲めは申すまでも無く、國家社會の爲めに大變に幸福な事であらうと思ひます。若しも私に繪でも書けやうものならば、逗子に遊びに行きたい、とでも思へば、其の前に澤山繪筆を揮ひまして、其れを他人が五圓に賣るものならば、二圓にでも三圓にでも賣つて、其のお金で樂しく遊びに參ることに致しますが、私には前申す通り、何も世間の奧樣方のやうに學問も出來ず、筆も立たず一圓のお金も取る事は出來ません。だから私は切めて家の事でも一生懸命に働かねばならぬと存じて、下女と一緒になつて、何んでも致して居ります、人樣にお目にかゝるのにも、庭木いぢりをした儘の浴衣掛で御免を蒙ります。でも私も江戶ッ子ですから、これでも出る處に出ますと、隨分高襟もやりかねませんけれども……。



群馬縣邑樂郡洪水の慘狀

英米女學生氣質

女子高等師範學校講師　小此木松子氏談

◉英國の女學生

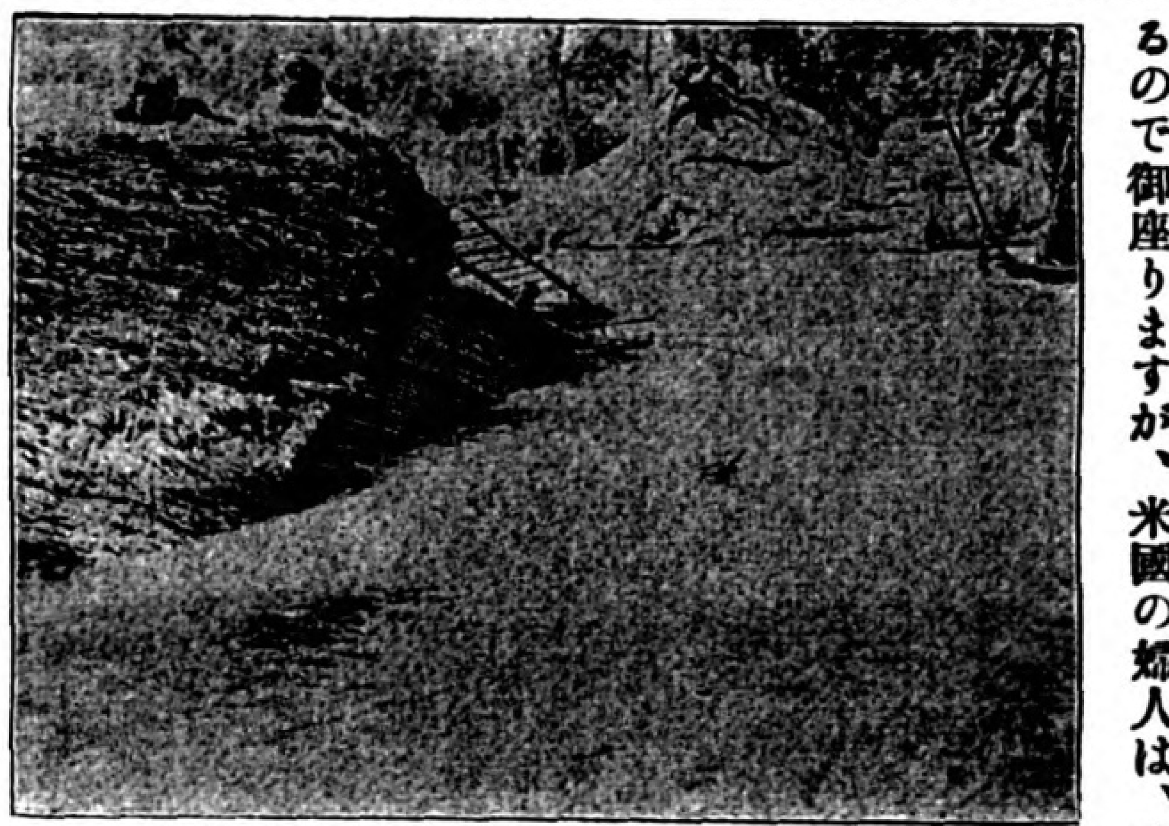
日本では、女學生の氣風が社會の風潮に伴ふて、浮薄に流れるとか、服裝萬端に流行を追ふて、華美に陷るとか言ふ噂を耳に致しますが、御承通の通り、あんな流行の烈しい場所柄にも關らず、英國の女學生間には、一般に、決して右樣な弊風は見えませず、二年も三年も以前に流行致したやうな、所謂時代遲れの服裝を、淸潔に致して着けて居りまして、頭髮の裝飾の如きにも、日本の女學生のやうに、リボンなどで飾つた女學生は見當りませず、夫れは〳〵質素なもので御座います、而して、課業の餘暇には圖書館へ閉ぢ籠つて、專門の書籍を耽讀する、と言ふ風に、忠實に眞面目に勉强致して居ります。こゝに女學生と申しますのは女子大學生徒のことでございまして、高等女學校の生徒はまだ嚴重な規則の下に居る子供の範圍に屬するのでございます。

◉米國の女學生

米國の女學生に見ますると、カレヂの種類程度にもよりますが、中には、服裝萬端に隨分と新奇を好むものも居り、カレヂ內に於きましても、晩餐會を開くとか、舞踏會を致すとか、朗吟會を催すとか致しまして、常に社會に接觸し、その風潮に遲れまじと心懸けて居るのでありまして、身は學生でありましても、半は社交的智識を養成することに、孜々として腐心する、と言ふ有樣で御座りますから、其の性格の如きも、英國の女學生とは違つて、一般に華美で御座ります。

◉何故違ふか

斯く、英米の女學生が其の性格を異に致して居りますのには、又理由が在ることゝ存じます。英國の女學生で大學を卒業致した人は、殆ど皆課學校の教師となるので御座りますが、米國の婦人は、卒業後半は教師となりますけれども、他の多くは家庭の主婦となるので御座ります畢竟英國の婦人が大學を卒業致しますのは、單に敎師となる爲めに、高尙な趣味と潔い品性と深い學識とを養ふのでありまして、米國では、淺くとも廣く、圓滿な常識を養成して、社交界に打つて出でました折に、不自由無く、遲れを取らない、と言ふ向きの教育を受けて居るのであります。結局、米國のカレヂは、若い婦人が之れから社會に踏み入るべく、その爲めの豫備教育を受けるところ、と云ふ氣味が見えるやうに存じます。この目的の相異は、前に述べたやうな性行の差を生ぜしめたのでありませう。



同　上

◉日本の女學生は贅澤すぎる

前にも申しました通り、英なり米なりの若い婦人は、女學校時代、女子大學時代を通じて、或は元氣に運動し、或は各向ふところに從つて眞面目に進み、心身に暇がございませむから、我國の女學生のやうに、美しく高價なリボンで頭髮を裝るなど言ふことはありませず、立派な絹布の衣服を着て、立派に化粧して登校致すやうな事もありません。家庭の富、生活の程度の上から見ましても、其國の財政の上から申しましても、英國よりも劣つて居る、その日本國の女學生が、英國の女學生よりも大變に華美に、贅澤に流れて居るとは、誠に好ましからぬ現象だと思ふので御座います。また一方から申しても元氣盛りである可き高等女學校の生徒達が、衣服裝飾上「どうみえるか」といふことにばかり腐心して「婦人としてどうあるか」といふことをおろそかにするのは大きな間違だと存じます。

◉夫れ計りで無い

又男女交際の上にも、徒らに歐米の風に習つて、自由の交際を望むとか、婦人を解放せよと叫ぶ、とか云ふことを聞きますが、歐米では、男女同じ教室內で授業も施し、其間の交際も自由に致しては居りますが、夫れは幾十年來の習慣に依り、既に秩序が整然と致して居りますので、何の亂れる心配も在りませんが、我國に於きましては、若い男女に左樣の行動をとらせまするのは、頗る懸念致すべきことゝ存じます。

爾來、溫順と申すことは、日本婦人の一個の美德で御座りました。此の美德は今日尙變る處はありません。其他我國の婦人には、種々の美德がありますが、その美德は何處までも傷けず、失はず致して、益々これが光彩を發揮させて參り、同時に高尙なる趣味、潔い品性を養ふことに注意致さねばなりませぬ。それには歐米婦人にも大變長所は御座りますので夫れは速に取つて學ぶべきではありますが、歐米の長短共に併せ習ひ、或は自己の長短共に捨てゝ了ふ、と云ふが如き事は、苟且にも致してはならないこと、存じます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人の病氣と貧血

ドクトル　富士川游氏談

▲若い折の注意が肝要　婦人の萬病の基は貧血にあり、と申して、婦人の一番罹り易い肺結核、萎黄病、消化器病、呼吸器病、神經病、心臟病、腎臟病等は殆んど悉く貧血から起ると言つても宜い位であります。統計に依ると、此病は十三四歳から二十歳位迄の若い婦人に起り易くて、同年頃の男子の貧血症が、百人中九人六分に對して、女子は十六人六分の比になつて居ます。此の年頃の婦人は、發育最盛の時代であると同時に、又此貧血に基く諸病に最も罹り易い時期であります。又姙娠及び出産の爲めにも往々貧血を起し、前述の諸病に罹る婦人が尠くありません。

▲肺病も婦人に多い　肺結核患者は十五六歳から二十歳位迄の若い婦人に多いのに實に驚かれます。統計の示すところに依つて、此病氣に罹る者を年齢別にして見ますれば、十五歳迄は男女共に極めて尠く、而して男女共殆んど同數でありますが、廿歳以上四五十歳迄は男子が多數で、婦人は何時も男子よりは少數であり、老婦人等は殆んど此病で斃れる者は無い位であります。然るに夫れに關らず、十五歳から二十歳迄の男子と婦人とを比較すれば、全く正反對に、男子は十萬人中十九人であるのに、婦人は百十五人の多數の肺結核患者を出して居るのであります。斯の如きは、畢竟此時代に婦人に貧血を起すものゝ多いのに基因するのであります。

▲婦人と諸病　一般に若い婦人の罹る病氣は、右の肺結核を除いては、第一に消化器病、呼吸器病、神經病、皮膚病、傳染病と言ふやうな順序で、之を同齡の男子に比べると、消化器病患者は男子の三倍、神經病は男子の四倍、傳染病は同じく三倍もあります。是等は孰れも貧血が原因でありまして、料理屋などの女中、商店の女賣子、女工等に就て見ると、此の貧血から萎黄病、消化器病、呼吸器病皮膚病等を惹起する者か非常に多く、百人中三十人の多數に上るのであります。其中でも直に貧血から來る萎黄病の如きは、商店勸工場の女賣子等に多いが、之れは勞働時間の過多と、立つて居る事居所及び營養の不良等に起因するのであります。

▲長命者は婦人に多い　一般に長命者が婦人に多いからとて、婦人は男子よりも健康に於て勝つて居る、とは申されません、若い婦人は一般に病氣に對して打ち勝つ力が非常に強く、男子に勝つて居りますが、一度病氣に罹ると臥床日數は同じ年頃の男子より長く、又其の病氣の爲めに死することも多いのであります、之れは若い婦人は比較的に長く床に臥せねばならぬ病氣に罹り易く、男子の罹る病氣には久しく臥床を要しない者が多いからである。然し四十歳から五十歳に及べば、婦人は男子よりも病氣に罹るもの、死するものが少くなり、斯くして老年に及びますから自然婦人に長命者の多い事になります、そこで一見しては婦人の方が健康に於て勝れて居るやうにも見えますか、婦人が元來男子よりも健康に於て優つて居ると言ふ譯では無いのです。

斯の如く、婦人の貧血と言ふことは、恐ろしいものでありますから、婦人にして長命者にならうと思ふならば、宜しく若い折に十分に注意して、貧血を起さぬやうにし、四五十歳位で更らに注意したならば、疑ひもなく長壽を保つことが出來ませう。

●韓國併合　日本の富力

高橋秀臣氏調査

韓國の統治權、我日本に歸して以來、我國の領土及び人口は、茲に著しく增したると共に其富力も亦大に加りて、今や正に三百億萬圓以上を算するに至りたるは、誠に喜ぶべきの事なりと雖も、之を歐米列强の富力に比較する時は、我國の富力は、夫の歐洲伊太利國の富力より猶ほ小にして、世界列强の第七位に居るのみならず、其の特に『人口一に對する富力』の若きは、正に英國民の六分の一、佛米國民の五分の一、又獨逸國民の四分の一に當り。而して、伊國民の二分の一よりも猶ほ少くして、稍々肩を比べんとするに力に追隨して、唯僅に露國民の富に過ぎず、帝國富力の列强に及ばざる遠しと謂ふべし。然れども、我國民の性格と我國土の地勢とは、我國の富力を增大せしむるの點に於て、極めて適當なる資質と涯りなきの天惠とを有するを以て、今より、上下心を一にして、盛んに經綸を勵まさば、我國をして、伊露を凌ぎて、獨佛に駕せしむること、敢て難き事に非ずと信ず。我國民は須らく、相一致して、力を茲に効す所なかるべからず。蓋し、我國は、最近二大戰役の勝利に依りて、國富五十億萬圓餘を併すを得たり。今計數を以て、之を示せば左の如し。

（但以下掲ぐる所の日本國及び臺灣の富力は、共に余が、明治三十八年及び九年の現在材料に據り。又朝鮮の富力は、同四十年の現在材料によりて調査統計したるものなるを以て、爾後の富力は此れ以上に增加し居ることは勿論なるも、今は調査中に屬するを以て、茲には舊調査額を掲ぐる事となしぬ）

●日本の富力（臺灣及び朝鮮を含む）　二七、六六五、七六一、六五五圓

内

●臺灣の富力（明治二十七八年戰役勝利に依り割讓せしめたるもの）　二、四九六、五一〇、七八一圓

●朝鮮の富力（明治三十七八年戰役勝利後讓與に依り併合したるもの）　二、五二五、三七二、〇八一圓

右の外、目下余の調査中に係る

●日本本土及び臺灣の港灣河川並圖書文庫の富力

●樺太の富力

●南滿洲鐵道及び附屬建造物等の富力

●明治三十九年以後增進したる國家の富力

以上、諸項の富力を總計する時は、我國の富力は優に、三百億萬圓を超過して富力の總額に於て、正に歐洲の伊太利國と比肩するものあらんとす。即ち我國は明治二十七八年、對淸戰役の勝利に依りて、臺灣を割讓せしめて、其富力二十四億九千六百五十一萬〇七百八十一圓を增し、又同三十七八年、對露戰役の勝利に基づき今回の讓與に依り、朝鮮を併合して、其富力二十五億二千五百三十七萬二千〇八十一圓を加へ、結局、明治二十八年より同四十三年に至る十五年間に於ける二大戰役の勝利に基づきて、臺灣及び朝鮮を併せて其富力五十億二千百八十八萬二千八百六十二圓を、永遠に、帝國の富となして、之を併合增大することを得たるものなり、猶更に細く計算して云へば、我國は、既往十五年間に於て、戰勝の結果、領土の膨脹に依り一年平均約三億三千四百萬圓の富を併せ、又之を人口一に割り當つれば、一人一年平均六圓八十錢宛の富を併せ得たるものとなる。

今左に『韓國富力項目』『日韓富力各項比較』及び『歐米六大强國富力總額及び人口に對する富力割合表』等を掲げて參考に充つ。

（記者曰く、こゝには唯歐米六大强國富力及人口に對する割合のみを掲ぐること左の如し）

●歐米六大强國富力總額及人口一に對する富力割合

英國富力總額	一二二、八〇〇、〇〇〇、〇〇〇円
人口一に對する富力	二、九六四円
佛國富力總額	一〇三、一七六、〇〇〇、〇〇〇
人口一に對する富力	二、六八八
獨國富力總額	七七、二四四、〇〇〇、〇〇〇
人口一に對する富力	一、九二八
米國富力總額	一五三、八八八、〇〇〇、〇〇〇
人口一に對する富力	二、五二〇
露國富力總額	六一、〇四四、〇〇〇、〇〇〇
人口一に對する富力	六六〇
伊國富力總額	三五、五二二、〇〇〇、〇〇〇
人口一に對する富力	一、二〇〇
日本富力總額（未調査中のものを除く）	二七、六六五、七六一、六五七
人口一に對する富力（韓國併合後調査中）約	五〇〇・〇〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箏曲評釋 松の下風（十四）（承前）

京都大學講師　池邊義象

●中・許・

▲須・磨・

（一）須磨といふも浦の名、明石といふも浦の名、更科の月ともに、ながめていさやかへらむ。

浦の名を二つかさねていへること、前段に述し栄落の歌と同じつゞけさまなれども、こゝはそのすまあかしは月に縁あるが故にいひ出たるのみにて、栄落のごとくその詞を他に應用はせず、すまあかしさらしなの名所を並べて、いさやそれ〴〵の月をながめて歸らんといへるか、おほらかにめてたきなり。

（二）春によせしこゝろも、いつしか秋にうつろふ、くろ木あか木のませのうちによしある花のいろ〳〵。

春によせし心も、いつか秋の草花にうつりゆくをいふ。黒木赤木とは、源氏野分の卷に、中宮の御前に黒木赤木の架をつくりて、秋草を植ゑられしことをいへるなり。そのよしある秋の花のいろ〳〵に心のうつるよしなり。

（三）きり〳〵す夜すから、何をうらみすだくぞ、われも思ひにたへかねて、いと心のみたるゝに。

きり〳〵すの夜すから鳴は、何を恨むるかあらむ、我も思ひに堪へかねて、心のみたるゝと、思ふまゝを訴へ出てたるなり。古今集藤原忠房の歌「きり〳〵すいたくなきそ秋のよのながきおもひは我ぞまされる」といふを考へ合すべし。すたくとは集まること。

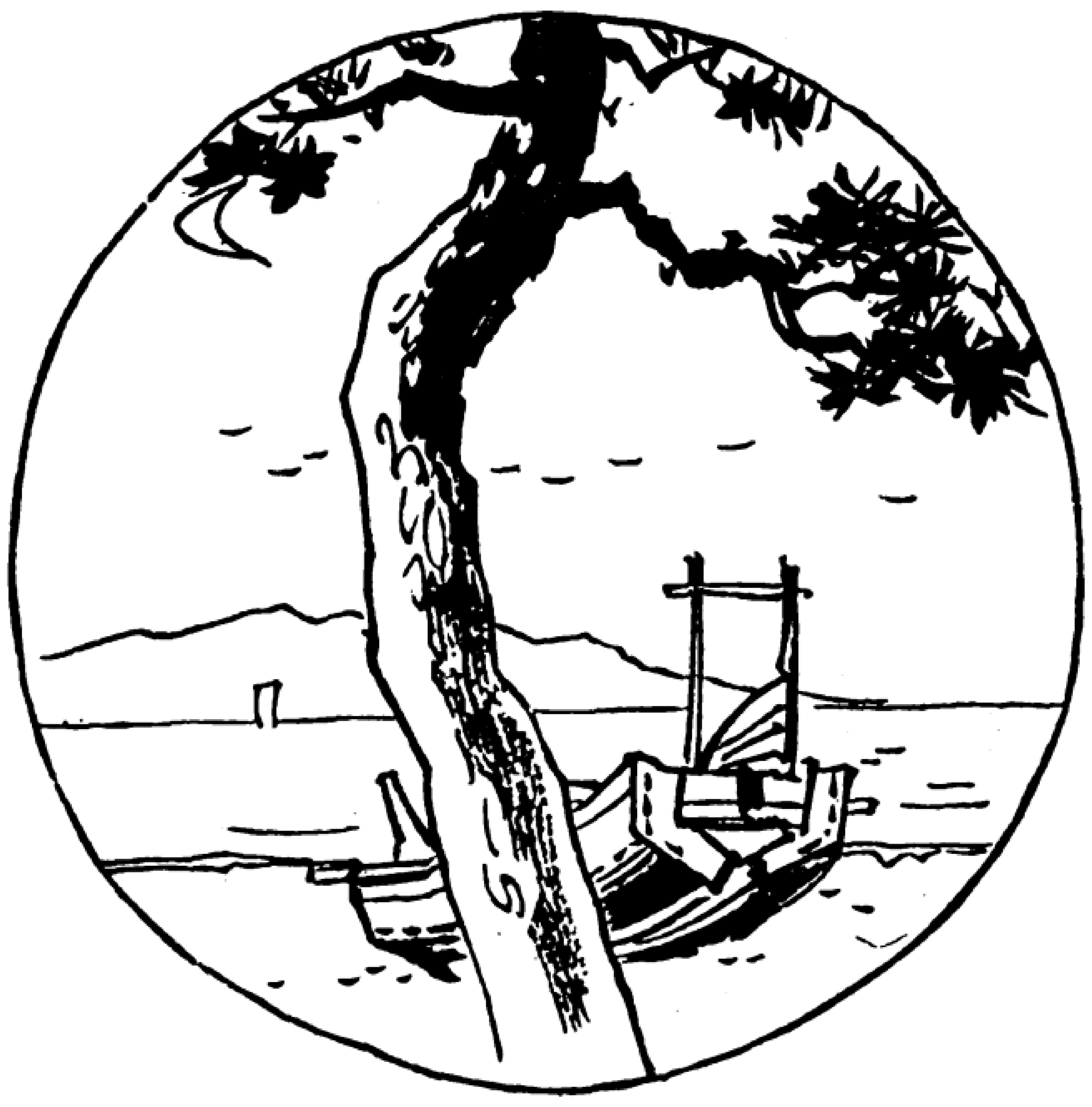
（四）なか〳〵に人をは、うらむましやうらみじ、とにかくにかずならぬ、うき身のほどぞかなしき。

思ひせまりて我か身をかへり見るなり。なまなかに人をばうらむまじ、必竟は我が身の數ならぬか致すところなりとみづから戒め、傷るものから、いよ〳〵おもひの切なるをあらはしたり。

（五）三五夜中の新月、くまなきそ、おもしろや、ちさとの外の人までも、さそやながめあかさむ。

これは名高き白氏の句にもとつけり。「三五夜中新月色、二千里外故人心」と友人元愼が外國に在るをおもひやりて詠せしものなり。

これよりいでゝわが中古の文にはあまたとり用ゐたり。月夜の遠情なり。



（六）深更に月さえて、くるまのおとのきこゆるは、五條あたりの、ゆふかほをしるべに。

これは源氏夕顔の卷によれり、源氏君六條御息所にかよひたまふ道すがら、忍び車して夕顔をおとづれられしことをいへるなり。夕顔をしるべにとは、夕かほの花のさきたる隣の家に女君たちはおはしける故に、この花しるべとなりしなり。

この一組は月によせておもひを述べたるにて、初に月の名所をいひ、さて人こゝろの時につれてかはりゆくよしに及び、それよりわが思の切なるをみづから戒め立かへり月夜遠人を思ふ心をいひ、遂に夕かほの卷にて結べるは、はかなき契をいへるなるべし。いづこまでもあはれふかき歌なり。

汚染拔き法（三）

高山　紫

▲一二、人乳　附着して未だ乾かぬうちならば、水で容易く洗ひ取ることが出來ますが、時間を經たものは前項血の染みぬきと同樣の手段を致さねばなりませぬ。一旦熱湯にかゝつた後は血の場合と同じく拔け難いものであります。

▲一三、鶏卵　先づ唾液をつけ置き、後水で揉み洗ふのです。一旦熱湯をかけた時は絹地なれば拔け難く木綿地なれば苛性曹達にて煮漂白法に由り拔き去ることが出來ます。

▲一四、雨　單に霧吹器にて水を吹き掛ければ宜しい、けれども仕方により霧の染みの出來る恐れがあるから、注意することが肝要であります。霧吹きの法にて萬一結果が惡い時には洗ひ張りを行ふ外はありません。

▲一五、味噌汁　先づ水を小刷毛につけて塗り、次ぎに百倍位の醋酸液を塗り、後水洗ひを致します、汚染の部分が大きい場合には洗張りをする方が宜しいでせう。

▲一六、牛乳　血の染み拔きのところに述べた通り、唾液を塗つて拔き去るか又は卵の白身を塗り掌にて温め、水で洗つても宜しいのです。

▲一七、漆　醋酸五匁に對し湯一合を用ひた熱い液にて洗ひ、白色となつた時に十分水洗ひして後、吐酒石一匁に對し湯二合位を混せて造つた液に浸し、水で洗ひます。又砂糖湯で拔きとる方法もあります。

▲一八、魚油・牛酪・鳥獸の肉の煮汁　過酸化曹達の薄い液で洗ひます、木綿ならば木綿類の洗濯法にて述べたる折の如くにして苛性曹達で煮洗ふのであります。

▲一九、紅　小糠を袋に入れ煎じ出した温い液で洗ひますが、他の方法として、釜の中で二時間程藁を煎じて得たる液の中に、紅の附いた部分を入れ、紅の拔ける頃を見計らひ全部を浸して上げてもよろしいのです。蓋し汚染の部分ばかり浸すときには、汚染は拔け去りますが其の部分が際立つて見苦しいので全部を浸すのであります。

▲二〇、墨　三宅堂で販賣する墨拔洗粉を同量の水に合せ、墨で汚れた部分を此中に一夜浸け置き、後水で十分に揉み洗ひを爲します、紋織、斜子の類は布目を斜に持つて揉み洗ひ、後水にて洗ひます。

▲二一　インキ

（い）黒インキ　先つ過酸化曹達にて洗ひ次に蓚酸の液を塗り、後水にて十分に洗へば宜しいのです、白無垢に附いた場合には鹽化第一錫一匁に燒明礬二匁小麥粉五匁の割合で團子樣のものを造り、之を塗りつけ置き、日光に曝し、乾いたところで揉み取りて水洗ひを致します、縞物の場合には、此の法を應用して白い部分に附着したるものゝみ拔き取るもよろしい。

（ろ）赤インキ　絹の糊氣の無い白地か木綿の白地に附着した時には、ロンガリットで煮ます、ロンガリットの液を造るには、ロンガリットの十匁を水二斗位に溶かします、色物に附着した折は、藁を煎じた熱液で洗ひます、白無垢に附いたる場合は黒インキ同樣に致します。

（は）青インキ　水を混せない醋酸を刷毛に付けて塗り、上下に木綿切れを當て鏝を掛け、二三回かく致して後水で洗ひます、色物に染みつきたる場合は、其の染料が酸性のものか、直接染料か、硫化染料か若くは青藍の時には、右の方法を施してもよいのでありますが、天然染料か若くは鹽基性染料で染めた色物に青物の附きたる場合には、右の方法では變色の恐があるから施しては不可ません。

（に）紫インキ　青インキと同樣に心得てよろしいのです。

素人料理

▲鰶洗ひ　新鮮なる鰶の鱗を去り腹を開き腸を割き水洗をなして三枚におろし薄身をそぎて皮をすき去り斜に一分巾の薄切りとなし直ちに目笊に入れて澤山なる冷水に浸し笊を搖り動かして肉の縮むまで洗ひ雫を切りて皿に盛り小皿におろし山葵と附醤油を入れて添へる。

▲牛肉芥子和へ　牛肉の良き所を薄切りにして五分間ほど醤油に浸し少量の鰹煮出汁を沸騰させたる鍋に投じてざつと湯がきたらば笊にあげて雫を切り醤油で溶きたる灰汁ぬぎ芥子に和へませて小丼に盛る。

▲海老飯　芝海老をよく水洗して沸湯に入れざつと茹で頭皮脊腸を除きて細かに切り少量の鹽水に浸し置き强目の飯の炊き了る頃鹽水ぐるみ釜に投じて蒸れ上りたる時飯杓子にて輕くかきませその儘茶碗に盛る。

馬の夢見る人は死す　（琉球）
馬の夢見れば好事あり　（富山）
馬の夢見れば風邪にかゝる　（尾張）
馬の夢見れば靈があたる　（長野）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育實料

名家の實驗

平素不用意の爲めに悲慘の境遇に陷りたる女の實例

中村女學校長　戸野みちゑ子

昔から治に居て亂を忘れず、と云ふ詞の有る通りに、人は必らず平素に十分の用意が無ければなりません。或は人の妻たるものでありましたならば、斯の如き不時の災難が起つたならば斯く處理する若し萬一夫が死亡した折には斯く覺悟する、と云ふやうに、平素から來るべき災難に備へる心の用意が無くては、いざ厄災が起つたと云ふ場合に當つて、周章狼狽しても最早追付く事ではなく遂に取り返しのつかぬ、飛んだ悲慘な境遇に陷らねばならぬ事となりませう。此の事は誰も承知の道理でありまして、今更私が申す迄も無いのでありますが、さりながら言ふは易く行ふは難く、世には往々此の用意が足りなかつた爲めに、將來有望の若い婦人の身が、あたら世にも人にも捨てられて、日夜身の不運に泣いて居る其の實例も尠くありませんのは嘆しい次第で御座います。今私は最近に起つた一事實で最も適切な例となるべき一婦人の御話を致しませう。

某縣の師範學校の生徒に某女と云ふが有りました、學業が非常に優等で品行も亦大變に正しく、校長始め諸先生方から大に將來に囑望されまして、此の學校を卒業後、人々の盡力に由つて東京に出で、今一修業をする事となりました。申し遅れましたが、此婦人は又殊に文筆が達者でありまして、國の學校に在學中から東京の諸種の雜誌に投書等致して居りました。

然るに、或る時、此の女に宛て一個の女名儀の書狀が參りました、披いて見まするすると、平素貴下の姓名は何々雜誌紙上で承知つて居りまして、常に一度は御面會も致したいと思つて居りました。幸ひ御出京の由、本日午後何時某所で御待ち致しますから、是非御出を願ひます、と云ふ樣な文言が、大變に上手な筆致で書いて有りました。

そこで、此の婦人は、要求せられた時間に、約束せられた場所へ參りました。一室に導かれますると、意外にも其處には唯一人の髭の生えた男の人が居りましたので、婦人はび・・・・つくり致し、ウカ〳〵と此處まで出て參つた事を後悔致しましたが、さて、時は既に遲いのです……弱い婦人は最早遂に潔白のものでは無かつたのであります。

其の婦人が其後如何に成り果てたかは最早申す迄の事もありますまい。又私も餘り申す事を好みませんが、此の婦人は遂に懷姙の後に、男に捨てられ、其後自暴自棄となり、墮落に墮落を重ねて、非常に悲慘な境遇に陷り、今は一人の顧るものもない、或る場所に涙多い月日を送つて居るのです。

私は此婦人の愚な行動を憐れに存じます、此婦人は、何故其家に行く前に、呼び出した人の如何なる人物であるか、現世は如何な社會であるかを何故十分に考へ無かつたんでせう、その考へさへ有つたらば、斯の如き悲慘な生涯は送らなかつたものを、と大に其人の爲めに惜み又憐みますが、此婦人の平素の不用意が遂に一生を誤らしめて了つたのです。

さて翻つて、此の婦人を斯くも不幸な境遇に陷らしめた男子は、現今如何に致して居るかと尋ねて見ますると、此の人は或る地方の中學の教師として、日々少年子弟を養成致して居るとの事で御座いますが、こゝに於て私は社會の不公平を怒らずには居られません、同時に誤られた婦人を憐むの情が一層痛切に起るのであります。（ムラサキ講演會にて）

小説

芳子

いさかひ（下の續）　三千子

芳子は、もう耐らなく成つて、若し淳一に打ち叩かれでもしたのなら、之程の感じは起るまいに、彼程私に盡して下さる、其夫に對つて、何て濟まない言を云つたのだらうと思はず涙ぐんで、

「私……本當に惡うございましたわ、ね心から其樣氣で云つたのぢやあないんですのに、貴方氣に障つたら堪忍して頂戴な。私本當に少しも、不足なんか思つてはしませんから……、貴方が彼樣に私を愛して下さる事、能く分つてますわ。ネ、堪忍して頂戴な。」

と眞から芳子は詫びてゐる。其れを今更諄く云ふ必要もないので、淳一は、

「マア分つたら、其れで善いサ。」

と簡單に云つて、其夜は何の事も無かつた。

其後淳一の態度は以前と少しも變らぬ一向其事は忘れて居る樣である。けれ共芳子は何うして忘れられやう。口にこそ出さないが、心の中では痛く懲りて、最う〳〵決して是から、下らぬ虛榮心は出すまいと思つて愼んで居ると、淳一は又以前より一層務に精勵して、或時は、夜も調べ物さへして居るので、芳子は尚更夫を敬ふ念が益す計りである。人の過失は咎めないで、自分は無言に業務に勉めて居る、此寛大な所爲を心から畏敬せずには居られなかつた。

所が計らずも、又以外の出來事を發見した。其れは淳一が豫て外套を誂へて有つたのを、芳子が財布を空にして仕舞つた爲めに、其註文物を斷つて仕舞つたのである。勿論芳子には、一言も其樣事は話さなかつたのであるが、洋服屋の小僧が、洋袴の直しを持つて來て、旦那樣は折角外套を御註文になりましたのに、少し都合が有るから止めると、御斷りになりましたが、若し外店へ御誂へになりますならば、何卒手前共に御用を願ひ升、と云つて來たので、始めて知つたのである。もう仕立にかゝりましたのですから、とマア其樣事が有つたのか、コートは、疾うから是非一枚拵へなければ、と云つて

居たのに、何ぼ氣が付かないと云つて、私はマア本當に自分の事を考へて御誂へに成つたのさへ、知らないで、お金を遣ひ込んでしまつた。其れも私のは差當り入る譯ではない。夫のは、あの古ぼけたの一枚しかない、あれで外出着に着られはしない、是非一枚入用だのに、夫に此樣迷惑迄掛けて何所迄私は馬鹿なのだらうと、熟々自分に呆れて居る。其日淳一が歸るが否や、「何故外套をお斷りなすつたの」と尋いて見ると、「金が無いからサ」と淳一の答は頗る簡單で有つた。芳子は二の句が續げなくつて、室の隅に掛けてある古外套の中に顏を埋めて密かに泣いて居た。

其夜淳一は穩やかに、芳子に諭き聞せたので、芳子は貧乏なるが故に、益々夫を愛する念が十分に心に浸み渡つた。自分の夫が腕一つで此世の中と奮鬪しつ行く事を智もあり、勇もあり、眞の男子であると思つた。そして又人間と云ふ者は左樣何事も十分になる物では無い。只夫婦中善く苦樂を共にして、將來に希望を懷いて、現在の足らぬ所は、共に共に耐へ忍んで、心身を働かして行かれるのを最上の幸福と悟つたのである。

翌日芳子は、金崎夫人を訪問して、一伍一什を打明けて話して、例の御召を買つて下さいと、請求んだ。夫人は例の素直な人なので、此話を聞いて、非常に同情を寄せて、世間には左樣云ふ事も有るものかと、甚く感じて、快く其品を買つて與れた。そして、其品は更めて芳子に、呉れやうと思つたが、直ぐ思ひ返して止たのは、流石に思慮ある婦人の處置で有つた。

芳子は其金を持つて、直ぐとすやにした外套を買つて來た。其時の嬉しさ。芳子は又茶の間の箪笥の前に立つて、今度は斯樣事を考へて居る。

「私の着物出來ましたのよ。能く似合ふでせう」と云つて、「之を着てゐやうかしらん。早くお歸りになればいゝ。之を見て何と仰やるだらう。」

アー嚮の日は、起たり居たりして、苦悶した箪笥の前に、今は嬉々として夫の歸りを待ち受けてゐる妻の心の相違、向へられた夫の心持は又前の日と何んな違ひであらう。

もう、庭の櫻も大方散つてしまつた。夫婦の心に通ふ春風は、盛り短かい花と何の關係が有らう。長く永く、二人の心に樂しく吹いて居るので有らう。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女の力

衆議院議員　福井三郎

女の髪の毛一本の力がよく大象を繫ぎ得る。と云ふ詞のある通りに、女の力は實に偉大なるものである。偉大なるが故に、之れを惡用すれば非常の弊害が起るので、その力を使用する上には、十分に愼重なる注意を拂ひ、宜しく正當に使用するやうに爲ねばならぬ。

然らば女の力とは如何。柔よく剛を制すと、其の柔と云ふのが即ち女の力である。

女が此の力を正當に、神聖に使用して大なる效果を現はした實例は、歷史上にも種々現はれて居る。尼將軍の如きはその宜い例である。

一家內に於ても、女が其の力を正當に使用する時には、柔と云ふ女の力は男子の力よりも强いものであるだけに、婦人の權威が男子より優つて來るが、之れは恐る可きでも、虞ふべき事でも無い。女は禮を以て飾り柔を以て男子を緊迫するので、一家內は斯くして男子に無上の權力があるよりも、却つてよく整頓し且つ幸福である。

この如く、女が其力を正當に使用するのは、大は國家の爲め、小にしては一家の爲に大變結構な事であるが、さて前にも述べた如く、一度之れを惡用すれば其弊は眞に恐るべきものがあつて、大は國家社會を危ふし、小は一家を傾くるの結果となるのである。

然るに、世には往々此力を惡用する女が在るが、夫は敎育無きの然らしむる處である。抑も人の性は善である。女の性も勿論善であるから其の力は正當に使用さるべき筈であるが、之を惡用するのは我欲と云ふ惡いものがあるからである。月は淸きもので、その淸き月を叢雲が被ひ隱すやうに、女の美しき天性が我欲に由つて被ひ隱されて、遂に其力を惡用する事になるのである。叢雲を吹き拂ひ麗はしき月の影を現はすのに風がある如くに、我欲を拂ひ去るのに人に敎育なるものがある。此の敎育の力に由つて我欲と云ふ雲を取り拂つたならば、女の偉大な力は常に善用されて、大に國家社會を益することになるであらう。

◎太田屋の名高き醬油は頗る衛生に叶ないたる保守式釀造に賴れるを以て料理用に缺くべからざる經濟的濃厚な芳香油と云ふべき良品にして陸軍省等の御用品ともなり今回の日英博覽會に出品して名譽賞牌を得しが如き或は江湖に良品中の良品なりと推稱せらるゝは當然の事にして古くより賣り來れる五種の精良品を各均一の直段にて十月中賣出す由なるが定めし門前市を爲し積出しに忙殺せられ長蛇の車隊を毎日送り出す事なるべし

十月一日より

第二十回新柄陳列會

寄せ裂れ見切り反物大賣出し

懸賞『新有職』『裾模樣圖案陳列―懸賞新形ショールの陳列

第一回美術及美術工藝品展覽會

『天然と人』懸賞寫眞陳列會

和洋雜貨新製品陳列會

東西諸大家新作畫幅陳列會

東京　駿河町

三越吳服店

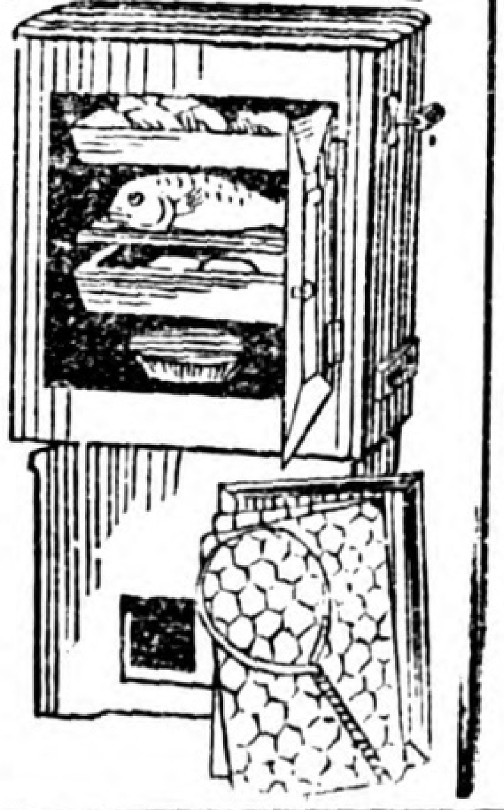
理想的美身料を天下に提供す

クラブあらひ粉
を用ひて素顏の美を發揮せられよ

クラブおしろい
を用ひて美しき化粧を施されよ

クラブはみがき
を用ひて齒の健全を保護せられよ

專賣特許名和式テンピ



嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理談中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり

大三圓中二圓五十錢小一圓九十錢

東京日本橋區蠣殼町二ノ十五

特許竈　据風呂

名和商店

電浪一一七七　振替口座一〇二五四

支店神田和泉橋通松永町十八

說明書　御希望の方へ進呈

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●群馬縣下邑樂通信

通信員所報

▲水害の慘狀

邑樂郡は群馬縣の東南端に位し南には利根の流があり東には渡良瀬、矢場の兩川が合して谷田川となり利根川に添ふて貫流して居ります、由來本郡は水害に罹り易い地形を有しては居りますが本年の洪水は九十の老人も未だ曾つて聞かない處だと申す位でありまして其の慘害の激甚な事は實に筆舌の能く盡す處でありません。

先づ八月七、八日頃から渡良瀬、利根等の各川が漸く水量を增して參りましたが九日に至つては利根川は一丈九尺渡良瀬川は二丈二尺九寸の水量と成つて、附近の村民が必死となり施し來つた水防の術も全く盡き果てゝ了ひ、其夜からは決潰又決潰、濁水は遂に邑樂郡全部を呑んで了つたのです。其の水の浸入始めは咫尺も辨せぬ暗夜で而も强風暴雨激烈な折でありましたので近隣相助け合ふなどは愚、僅に身を以て免かれ妻子を顧るの暇もなかつた程でありますから其狀況は實に慘澹極まる有樣で今も尙語るも聞くも熱い淚の湧き出づるやうな出來事が尠くありません、其內の一二の事實に就て述べますれば。

先づ郡の東南端大ケ野村に淸水卯平と云ふ一家五人暮しの農家があり十一日午前二時頃浸水愈甚だしく遂に二階に及びましたので家族皆屋根裏に這ひ上り助を叫んで居りましたが家屋はあはや動き出さん危險の形勢になりましたので一家五人は茲に死を覺悟し遙か向ふの堤上まで泳ぎ行かんと決心し父卯平は本年四歲の女子を妻は本年生れの男の兒を脊負ひ遂に濁浪中に泳ぎ入り留七と云ふ本年十三歲の少年は又單身之れに續きましたが何を申すも暗夜に加ふるに流れは急に浪は高いので水泳の心なき卯平の妻は早くも脊の子供と共に姿を沒し留七は父の後を追ふて漸く半町位は泳ぎ續けましたが之れも次第に力盡きて遂に濁浪に運び去られました、父卯平は僅か數間を隔てて此の慘狀を目擊しながらも之れを助くるに術なく且つ我身も脊負へる子を捨てなければ益々危險に陷りますので淚を呑んで之れを捨てやうと致しまするに子供は一生懸命に父の襟首にかぢりついて居りますので捨てるに捨てられず今や父子共に危急の場合になりましたが幸ひにも救助船に發見せられ辛くも危い命を取り止めました。

其他親に別れ、子に棄てられ或は夫に死なれて將來の生活に惱む妻など一々枚擧するに堪へませんが、さて此憐むべき罹災者中に千餘人の癈兵及び軍人遺族が含まれて居るのであります。嗚呼世の淚ある會員諸姉、願くば彼等の爲めに一滴同情の淚をお惜み遊ばざらん事を切に希望するのであります。

●秋の流行

三越店員談

此の秋から冬へかけては矢張り濃き色の天下で御座ります、尤も昨年から見ると色合が幾分薄くなつて參りましたけれども……、先づ本年流行の、

▲縞物は　相變らずお召縮緬が全盛で地色や配合は追々薄く明るくなり織方も前年の流行を受けて益々複雜に目先の變つたものが現はれて來ました、其中でも竪に面白く縞柄を織出し横縞を巧みに仄めかしたのが大變讚迎されます。

▲裾廻と胴裏　裾廻しは縮緬か羽二重を用ゐ色は表と同色か又は同系の少々薄いのが流行ります、年若い人には全く表と反對した白茶や靑磁等の派手な色を用ゐるのも高尙であります、又胴裏は白絹か薄卵子色、令孃向には矢張紅絹です。

▲長襦袢　縮緬か又は變り縮緬の着物と全で反對の濃い目のものが讚迎されます、又之迄秋になると厭れて參つた白地や晴れやかな茶や黑地が珍らしく珍重されます。

文學博士　芳賀矢一先生序
文部省視學官　槇山榮次先生序
東京女子高等師範學校訓導
斯波安子先生新著

新國定教科書準據

つづり方の本　一名小學作文

曩に本會の出版せる斯波先生著つゞり方の本は非常なる好評を博し忽ち五版を賣盡せり依て今回新國定教科書により更に同先生の著を乞ひ本書を出版せり本書は著者十數年の經驗に基き兒童學力の程度と心意狀態とに應じ著者獨得の筆により綴りしものなれば愛兒の綴方の進步を望まるゝ父兄は速に兒童に一本を供せられよ

尋常三學年前期用　尋常四學年前期用　尋常五學年後期用　尋常六學年後期用

一冊　定價金拾五錢　郵稅四錢

發行所　●研商會●　本鄕區西片町一九　振替貯金一二五七二

乳の出る藥

乳止まりし人　乳不足なる人　乳日增に細り行く人　牛乳其他代用物の危險と且不經濟とを思ふ人は速に服されよ本劑は乳の出る事眞に不思議の靈藥なり今や嬰兒に代用物を與ふるの極めて危險にして恐るべきは諸大家の示す所なり說明書御入用の方は郵劵二錢を添へ申込あれ

一劑（七日分）金壹圓
地方送料　金十四錢
市內送料　金四錢

東京京橋新富町七の九
川崎哺育堂
（電話新橋三四一九）

特許　千代田火のし

極少量の炭火で長時間用ひられ
溫度の加減自在にて
和洋の織物に巧妙にきゝめあり
使ひ心地のよきこと眞に無類
一度試用せば其工合忘れがたし
○各高等女學校裁縫科御用

東京淺草區茅町淺草橋際
阿部彥四郎商店
電話　下谷一九二三　仝　三二四八

世の多くの婦人は子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に內服藥の必要なる症狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は內服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのである今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す

幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尙詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將球は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、淋毒性子宮病等の特効あり殊に良夫の淋疾に罹り居る時は淋毒菌の爲に心付かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目（振替口座一六八〇番）津村順天堂です●取次全國各藥店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

初秋

佐々木先生選評

天　福島縣河沼郡柳津村　爲田よしの子
水みればいよ〳〵淸し野邊見れば千草色つきぬ初秋とこそ
（評）天に地にみちたる初秋の氣いとなつかし。

地　遠江　山下彌生子
あさごとにさびれ行くなる花故に暦くるなり牽牛花の宿
（評）初秋といはで、初秋をあらはしたる技巧のたくみなるをもて採る。

人　芝區葺手町　土師利根子
病いえて歸らん日のみ待袖に吹てそわたれ秋の初風
（評）病院などにあるにか、温泉の宿にか、そはさだかならねど、初秋の感よくあらはれたり。

秀逸

○　横濱　鈴木まつ子
たち居までかろくなりたる心地して涼しくふきぬ秋のはつ風

○　長崎　芳子
初秋の宵ねのゆめのさむるころ都の姉の返りふみ來ぬ

○　岩代　長谷川吉野子
つり落つりしがまゝに秋立ちて茅が軒端に法師蟬なく

○　京橋　宇佐見こま子
朝しめり淸めし庭にたゝずめば袖につめたき秋風ぞ吹く

○　岡山　西村長子
新ばりの小田のはしりほつゆおもみとよ年つくる初秋のかせ

○　岐阜　野村なか子
栗の實の落つる頃かも山もとのくさむらしげくかよふ子等見ゆ

佳作

○　不二見町　田村かれ子
初秋を知りそめし日の夕べより月も限なく池水に澄む

○　函館　五十嵐やす子
にひ月にはしり穗見えて小山田の人おどろかす秋の初風

○　岡山　墨江幸子
古里にひとり殘しゝ母のみにさはりやしけん秋の初風

○　岐阜　小島駒子
名もしらぬ蟲のなく音をめづらしみみゝかたむけぬ初秋の庭

○　鹿兒島　富田すみ子
鳴蟬の聲もよわりて山里は悲しさいそふ秋の初風

○　播磨　長田あき子
思ひ出し我年よめば三十あまり二つかうゆる秋の初めに

（苑友小影）

福島支部河沼郡幹事部幹事　長谷川よしの子

○　岡山　森島古野子
淋しげに枯のこりたゝ朝顔に桐の一葉のちりかゝりけり

○　同　世應龜子
ものうしと思ひ初めぬる秋なれやしばし二日の月をながめて

○　山口　末田貞節子
山くづれ水のあふれしあつま路にあはれたつらむ秋の初風

○　神奈川　足立原とく子
玉たれのをすまく袖にゆら〳〵と渡ろも涼し秋の初風

○　山口　末田竹子
大水にながれしさとをおもふかなあき風さむくなれるこのころ

○　赤坂　淸水まつ子
朝顔のつぼみすくなくつろかれてころもかさぬる秋のはつ風

○　横濱　鈴木まつ子
ひとりねのかやのすそにもおとづれてしのゝめさむし秋のはつ風

○　麻布　濱子
母君が病みますまどに今朝よりは聞くだに悲し秋の初風

○　山口　内藤まさ子
樹の陰もおのづと淋し庭の面に蟬の聲さへいよいよしづみて

○　本所　服部綾子
朝化粧端居の人のびん髮に風さびしくも秋立ちにけり

俳句

鳴雪先生選

天　美濃　酒井蝶子
十六夜や六波羅武士の色白き

地　岡山　西村長子
南山は白雲とんで秋の風

人　神戸　坂本崎子
盆栽の竹の雫や雀餌

秀逸

○　兵庫　三畑たか子
砂濱や松黑ふして夏の月

○　日本橋　雅女
思ふ程叫びて蟬の秋近し

○　播磨　長田あき子
欲書かん硯に萩の一雫

○　長崎　芳子
賤の女が草花うろや夏の暮

○　岩代　長谷川よし子
門川の田舟を叩く水鷄哉

○　備後　世應龜子
折々に雉子の叫ぶ晷哉

○　本所　鵜岡遊喜子
行軍や松原三里青嵐

▼愛國文苑▲

◉和歌　坂正臣先生選　天長節（十月五日締切）　蟲（十月廿日締切）

◉和歌　佐々木信綱先生選

◉俳句　内藤鳴雪先生選　秋季雜咏（五日、廿日の兩度締切）

入選者には左記の賞品を呈上致します

天、賞品、宮内省御歌所御校、兩陛下の御製を收めたる日月帖一部（俳句天賞は寫眞ブック一冊）

地、賞品　繪葉書ブック一冊

人、賞品　繪葉書ブック一冊

▼愛國文苑▲

日誌

△九月六日（火）晴　獨乙前殖相デルンブルヒ氏（授勳一等旭日大綬章）　天皇陛下に謁見並陪食仰付らる◉皇太子殿下鹽原より日光御用邸に還啓◉東伏見宮殿下逗子より御歸京

▽九月七日（水）雨　殿下鹽原より再び同地御成　久邇宮各若宮殿下京都より、梨本宮姫宮殿下名古屋より御歸京◉討蕃隊慰問の爲め差遣はされたる中村侍從武官長歸京復奏◉九條韓國併合奉告使歸京復奏◉關西地方水害の報到る

▽九月八日（木）雨　西班牙馬德里府知事に對し帝室より御紋章附鳳凰形銀製鉢御贈興◉皇太子殿下日光より足利御成◉李太王の甥陰謀嫌疑により檢擧さる

▽九月九日（金）雨　京都御所及奈良正倉院の御物風入れの爲東園侍從を差遣はさる◉渡淸米人團來京

△九月十日（土）雨　東宮殿下日光より宇都宮行啓◉千里眼婦人入京◉竹田宮妃殿下鹽原より御歸京◉獨乙前殖相退京◉山田式飛行船航空試驗を成す（我國始めての航空にして成績稍良し）

▽九月十一日（日）晴　北白川宮各女王殿下葉山より御歸京

▽九月十二日（月）晴　山根侍從武官を陸軍重砲兵射擊學校射擊演習地へ御差遣の旨御沙汰あり◉高架電鐵案東京市會に否決さる◉二百十日

▽九月十三日（火）雨　泰宮殿下御始業式◉長き逸より武庫離宮京都御所水道等檢分の爲め渡邊宮相を御差遣あり◉曾禰子爵薨去

▽九月十四日（水）雨　東宮妃殿下日光より御歸京

▽九月十五日（木）曇　閑院宮殿下御殿場御成◉岐阜縣下水害罹災民の爲め兩陛下より御救恤金の御下賜あり

▽九月十六日（金）晴　陛下より故曾禰子爵弔問の御使者御差遣◉閑院宮殿下靜岡縣下より、北白川宮大妃殿下逗子より御歸京◉帝國劇場附屬技藝學校第一回女優卒業式

▽九月十七日（土）晴　兩陛下より故曾禰子に對し祭粢料御下賜◉皇后陛下東京彰工競技會行啓◉梨本宮妃殿下名古屋御巡行◉黃海々戰紀念會◉朝鮮問題殉難報効志士追念會史談會（及黑龍會主催）

△九月十八日（日）晴　泰宮殿下新宿御苑御成◉有栖川伏見山階朝香竹田梨本の各宮殿下より故曾禰子へ香料各一封生花各一對御下賜

愛國婦人ブラク（投稿隨意）

▲不束な私でございますが京都の但村樣をおしたひ申ておりますこのごろはいかゞ遊ばしたのでございませう昨年の紙上に御座いました御うつしゑや歌文を拜見いたしましてはいとゞ御なつかしさがまさるばかりでございます秋の嵐山や嵯峨野の月、どんなにゆかしいでせう（横濱鈴木まつ子）▲先頃の洪水に御たづね下され候諸姉がたに申上候秋風たちてくらしよき折から御かはりなく御消光と存候御かげ樣にも洪水にも何んのさはりもこれなく候まゝ御安心下され度先は御禮迄（岐阜野村なか子）▲鈴木まつ子樣へ先達てはおうたありがたく拜見いたし候御笑ひぐさに

田の面渡る夕の風に秋見えて
さみしきはかり靜なりけり　（岐阜なか子）

二十ばかりの美人が渡船場へ來て五厘置いて船へ乘つた。「モシ〳〵お前さん渡船錢は一錢ですよ」「妾は眞中で身を投げます」

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所

本店　麴町區永田町二丁目
乳牛場　豐多摩郡千駄ケ谷町

鈴木牛乳店

電話新橋一九九五
振替口座二四二四

一弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の浸入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

○幸福を生の母は曰く神功湯奈り
勿疑ふ食は美味も知り難し

定價　四日分三十五錢　一週分六十錢　二週分壹圓十錢

用ひざれば偉大の效能も知りがたし
知らず知らず不幸の人となる勿れ

主治效能（婦人血の道　○産前産後　○子宮病　○月經不順　○其他婦人病一切によし）

神功湯發賣元　東京市神田區柳原河岸廿四番地　山田天賜堂
電話浪花三三五一番
振替貯金口座一〇五八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜録

●救護金贈與に對する禮状

今回私事不時の水害を蒙り候處早速御慰問に預り昨十九日郡長閣下より忝く頂戴一家一同感泣仕候回顧すれば私事貴會の御救援を蒙り都度御洪恩の程只管相感じ暗涙に咽ぶのみに候何を以て貴會の御洪恩に酬ひん乎力の足らざるを如何せんあゝ死すべき秋に死せざれば死に勝る事あるとかや何時迄貴會の御恩惠に浴すべきか感極つて如此先は忝く御禮申上候早々頓首

明治四十三年九月廿日　長野縣安曇郡有明村　小林茂

愛國婦人會長
子爵夫人岡部甚子殿

右は去月の水害に就て本會より贈與したる臨時救護金に對する癈兵の禮状であります。此外定期並に臨時救護金を受けたる左の人々から禮状が到着致しました

山梨縣北巨摩郡穗坂村大字三之藏日之城　大柴しげ
神奈縣愛甲郡高峰村三増　八木十五郎
和歌山縣那賀郡小倉村　秀次郎遺族　大北長兵衛

●臺灣討蕃の現況

討蕃隊の現狀に就て臺灣守備隊司令官から第十師團長に榮轉された小泉中將の談話として左の通りに傳へられて居ります。

討蕃の現況は宜蘭隊（人員千五百名）新竹隊（人員四百名）兩方面共大に發展しガオガン族を瞰射する要地を占領して余の陣地退去前より双方の聯絡を取る爲め懸崖を攀ぢ溪流を渉り鐵條網の代りに强烈なる電流を通じたる針金を架設し居たれば最早成功したるべく此の聯絡の目的を達し次第彼若し歸順の意を表せば一切の武器を我に收めて許容すべく否らざれば猛烈なる砲擊を加ふべし蕃族等は頗る無邪氣にして休戰中は我が露營に土産物等を携へて訪問し我亦麵麭などを與へて歸すを常とし我れ之を五月蠅しとて拒絶するも彼は尙ほ酒蛙々々として訪ひ來る一日土目の倅我を來訪の途中過て鐵條網に觸れ死亡せしより我れ弔意を表する爲め豚一頭を贈りしに我は健氣にも死は天命のみとて受けざりし▲ガオガン蕃は大古寒溪の山腹に在り約二百戸の一團部落を望見し得るも尙ほ其奧に方りて百餘戸のマリコ蕃あり土匪の殘黨四十餘名入込みて反抗を煽動する形跡あれば直ちに降服はせざるべく又今回新たに百餘戸の蕃族部落を發見せり▲討蕃隊の死傷累計は約二百名にて内將校戰死三名負傷三名其他戰死者百名に達す（報知）

要するに宜蘭隊と新竹隊との連絡は今正に通じやうと致して居る有様でありますが、この連絡が通じた折は乃ち我軍の大活動を試みるの時でありませう。

●婦人の銀行

獨逸伯林には婦人の爲めの銀行起り行員凡て婦人なり▲婦人にして事業を營み自立せんとするも男子の銀行にては婦人の商業的能力を信せざる等不便多しとて起りしものなるが繁榮の見込慥かなりと▲資金の融通は主として株主間に限らるゝも其他の婦人にても借入れんとする金員の中より幾分か株金として拂込まば融通を得べし▲同行にては利益の一部を慈善に投じ漸次行務を伯林以外に擴張すべしと。

大日本齒科衞生研究會

モデル齒磨（みがき）は

齒科醫百余名合議製劑

ニキビそばかすに

苦悶者は藥學界の泰斗藥學士藤本理先生が半生の心血を注ぎ發見せられたる特種の奇藥クヴルーを使用して速に苦腦を脫せよ但し本劑希望者は本劑購求前又は同時に郵券金貳錢添へ本劑の說明書を要求せられ其特効を確認せよ◉藥價輕症用五十錢送料市內四錢地方八錢滿韓臺灣卅錢

東京下谷區東黑門町六番地　長田彌平
振替東京七六二九番　電話下谷二一五七

ちいれもくせも　もはへうけあい　二大奇方劑

本法は女髮結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く滿足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麴町區三番町六七　小林濟世園

女子文壇

十月號　一日發刊　百五十餘頁
口繪：石版寫眞版十一頁
價　一冊拾五錢送料一錢五厘◎半年增刊共八冊前金壹圓卅四錢

要目
●世間一般の婦人に對して 秋元子爵 ●朝鮮婦人の變つた生活 目賀田夫人 ●使命を完ふせる婦人の模範 村田勤 ●女中は使ひやうで働く 長野博士夫人 ●米國スミス大學卒業歸朝の感想 二宮貞子 ●帝國圖書館の婦人室 長曾我部菊子 ●電車に乗る女の樣々 加藤算子 ●森（小說）小川未明 ●お才の國 横瀬夜雨 ●母子 物集芳子 ●とけたる帶 原田琴子 ●見えぬものを見る婦人 ●藤村夫人を憶ふ 其他

十月號　發刊　挿畫澤山
價　金拾錢　郵税一錢

少女

●（伽噺）小猫とピアノ●（小說 珊瑚の船●深山の少女●女間諜●少看護婦●讀者小說●（對話）●淋しい秋●（詩）雫●花子さんの修學旅行●當世少女番附外●新式懸賞あて物●少女文壇等面白し

東京市京橋大鋸町　女子文壇社發行　賣捌　全國書店

季節向の半ゑりは神田赤のきんに限る
本店　神田表神保町壹番　電話本局二八五三
出店　新橋博品館階上

造花材料
（營業目錄御報次第送呈ス）
東京市本鄕區眞砂町
百花堂

●東洋一製造大販賣　卸し小賣
◉夜具蒲團類綿ざぶとん
●街鐵・外濠・小川町東明館前に下車を乞ふ
諸官省御用
や
矢田本店
神田表神保町二　電話本局二〇一八番
市內無賃配達
●階上縱覽御隨意　珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附●確實大勉強●正札引なし

東京市日本橋區通一丁目
合名會社　森村銀行
電話（特）本局六七三番　電話本局四九八番
定期預金　六ヶ月　年四分五厘
當座預金　百圓に付日步　五厘
特別當座預金　同日步　九厘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

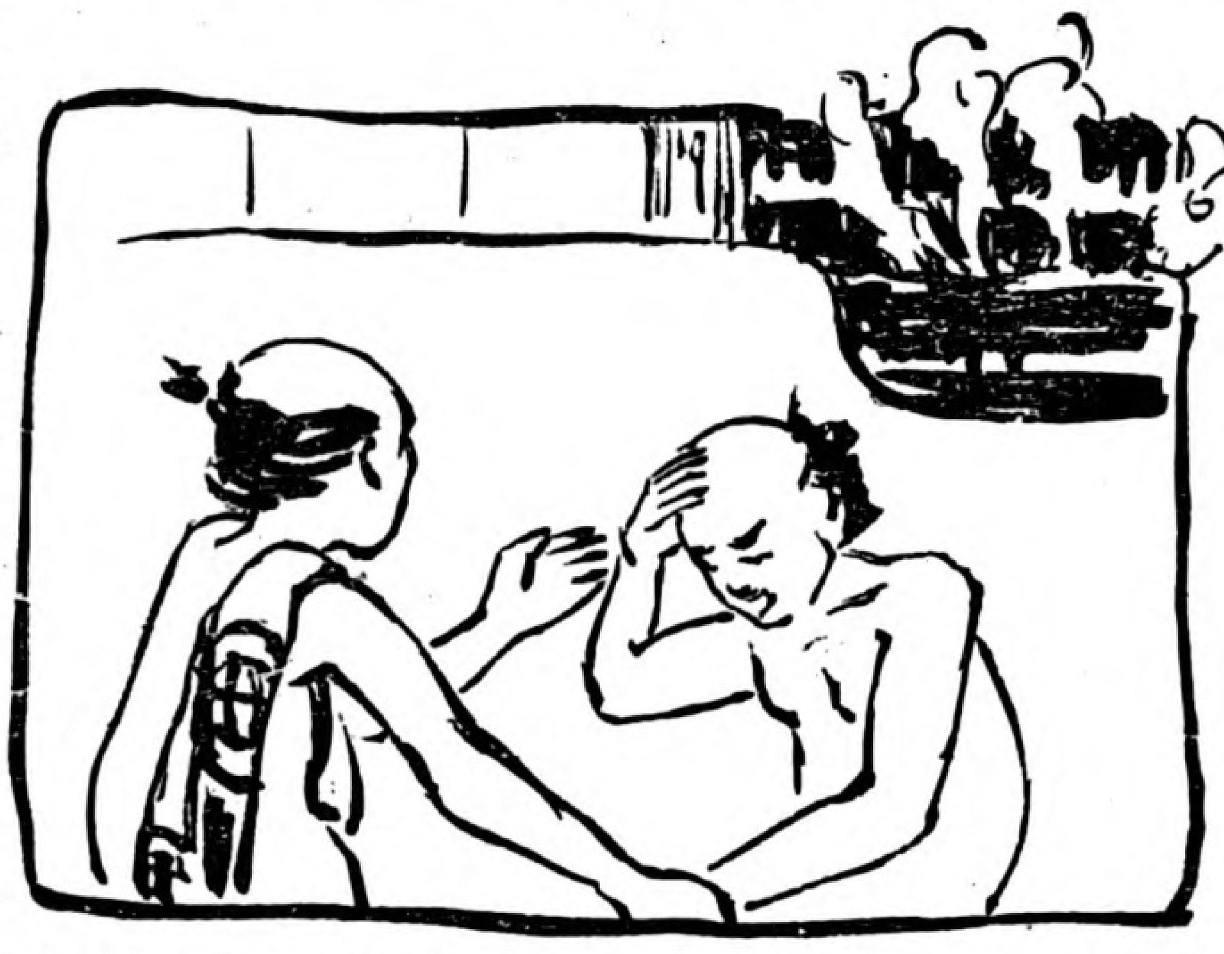
講談
勝田新左衞門
大島光利口演

第四席ノ四

敢て珍らしからざる事ながら、折しも聞える高話し、只事ならずと見えたる内に大紋附の印袢纒、肩に手拭俠の職人體、一の字續ぎの廣袖を着たのと二人、表の障子を開けて湯錢を番臺に投りわげ、
○『兄イ、今日は實にお前に見せてエ樣、夕べの本所の騷ぎは眞實に話にも出來ねエせ　△『そうか、早く暖まつて出懸けやう、云ひつゝ三尺を手早く解き、衣類は棚の中に投り込み、其儘流しに驅け出しが　○『オイ初、手前股引を穿て湯に這入るのか、△『オッとしまつた、始終穿て居ては氣持が宜いけれども、脱だり穿たりするのに手數がかゝるんで困るな、待つてくんねエ、半紙を二つに折て踵にあて漸く股引を引下す、其頃の川柳に

堅ひのは股引ばかりドラ息子

總て昔時は勇みな者は股引は堅いをもつて自慢としました、頭の毛は水髪でバラッと左りにハケを散し、脊中の入墨はまだ仕上らぬと見えて、眞の筋彫で大蛇丸が咒文を唱へて印を結び、立姿だ、蟒は只頭ばかりボカシが出來て居るので恰で泥棒がアナゴの頭を踏で居る樣に見える湯に這入らんとすると、中では十兵衞が熱さ堪へ難く、されど表へ他人が來た樣子、コヽは武士の意地と瘦我慢して、ウーンと呻唸聲、先の若い男は驚ひて止桶を抱へて出て來る三介に對ひ、○『オイ番頭さん　番『何んだね、○『湯の中にウンと呻唸て居るのは誰だエ、番『御徒士町の大竹の旦那樣だ』、云ふと若ひ者は吃驚して若『其奴は大變な奴が這入て居るナ、△『初何が大變だエ、初『お前は離れて居るから知るめエがの、御徒士町の大竹の旦那と來た節にやア、八釜敷屋の評判なんだ、○『ヘエー、何んなに八釜敷いのだエ、



初『何んなッてお前、確か去年の四月頃だつたがの、○『ウン何うしたエ、初『馬鹿に朝湯が熱いから俺が拳固を堅めて力一杯オイ番頭二三杯入れてくんなと威勢よく羽目を叩いた○『成程、初『さうしたら湯の中に居た奴が、不意に俺の手ッ首を握つた夫が大竹の旦那なんだ、其方は怪しからん奴ちや、一同に相談もなく源平藤橘四姓の者、誰も這入る是は公開場其湯を熱ひか溫ひか相談もなく勝手にうめるとは何事ぢや、うめるともうめないとも一統の客に相談を遂げ、多數によつて何せ決ぬと云はれたぢやアねエか、○『夫れは尤もだナ、初『源太の前だが文句は些とも判らねエ、夫れからマア御尤もで御座います、彼方でも御用と有仰ると斯う遣るとの、其方は居合拔見たやうな奴だ、手討に爲すべき處なるが罪一等を減じて拳固にまけて遣ると　源『遣られたかエ、初『ボカッとお出なすつたが、痛エ樣な顏は爲ねエけれども頭がガンした夫れから此方陽氣の變り目には屹度頭痛が起りやアがる、頭痛に遣るせが無いワイなと來やアがつた、源『靜にしろ中に知れると厄介だ、君子は危きに近寄らず、初『吉原に居殘りをする君子があるかエ何うしやう、源『マア宜いや饑饉年の貧乏人と同じやうに、岡湯で二三杯間に合はして置ふぢやアねエか、其内に旦那が出た後でゆつくり暖まつて往ふ、初『併し兄イ、高輪の泉岳寺に間に合ふかナ、源『左うヨ、間に合はねエ事もあるめエ、何にしろ一風呂這入らなければ遣りきれねエ　源『實に大石內藏之助樣は豪氣なものだなア、日本一だな　初『日本一と云ふと大石內藏之助樣と黍團子ばかりだ、源『大石は重石輕石は輕い、黍團子は喰るが大石は嚙れねエ、初『何を云やアがるこん畜生頻りに喋舌つて居る處へ風呂の中から出て來る大竹十兵衞、聞くとも無しに終始の樣子、胸に犇と思ひあたる、赤穗の浪士の夜討と聞てさながら心も心ならず、町人に尋ねて始めて赤穗浪士の大望成就を知り泉岳寺に驅け付け勝田新左衞門に再會を遂げるの美談。

專賣特許
エンゼル香油

紳士貴婦人專用高等香油

◎定價其他の詳細は返信用切手封入申込あれ説明書を送呈す

不思議の香油新發見

◎A號エンゼル香油は毛髪を黑く光艶を出し毛根を養ふ唯一の高等香油也

◎B號エンゼル香油は如何なる天性の縮れ毛も自然に矯正せる特許品なり

清浦子爵　田原藥學博士　高山工學博士　三山工學博士　證明

◎各地特約販賣店希望の方は至急申込みあれ御相談に應じ升

東京市本郷區東片町十五番　エンゼル商會　電話下谷二五六九番

十月中空前の新提供

○前代未聞古來特產最上醬油均一廉賣

日英博覽會名譽賞牌
內外博覽會一等賞名譽賞金牌受領

壽　滋味豐富
山　風味優妙
富士　甘味濃厚
七五三　香味馥郁
成功　色澤淡紅

特價壹樽貳圓八拾錢均一

輓近諸彥が懲り給へる或る種の醬油廣告と同一視し躊躇し給ふ勿れ敢て天下一品名實兼備と不誇と雖確に家庭用として最も適せること斷言を不憚候
見本御申越次第市內進呈五印共均一品殊に吟味せるは勿論目下醬油暴騰の折柄釀造直賣獨得他店の企及ばざる廉賣なり萬一御意に適はざらんか御使用半途にても交換返金不苦何卒速に御用命賜り眞價御認あらんことを

○市內勿論全國三百哩以內停車場まで無料　三百哩以上停車場留置金廿錢均一

釀造直賣元　陸軍御用達
東京市小石川區新諏訪町（飯田橋際）
太田屋醬油店
電話番町一四〇六　口座東京八〇八七

鋼製改良風呂釜
湯屋用改良釜
檜製箱風呂
樅製桶風呂
實用輕便傘置臺

此傘臺は鐵製にしてネジ留に仕込あれば取はづし自在雨傘洋傘ステツキ置晴雨共使用出來極便利なり
總鋼鐵製五德用竈各種出來あり
圖面定價表御入用の方郵券二錢送付あれ進呈す

發賣元　東京日本橋區通油町電浪一四六一　銅器問屋　石川商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人画報

十月一日發行 十一月卷◉紙數增加大改良◉價廿五錢 稅二錢 半年前金一圓五拾錢

讀物

危險な婦人の思想……井上文學博士
▼眞の慈善……小河法學博士
▼朝鮮婦人……萩野文學博士
▼應用の才……下田文學士
▼現代婦人の應接振……芙蓉
▼京阪の女學校
▼特色ある二夫人
▼忘れ得ぬ友の數々
▼假名を上手に書くには？……佐々木信綱
▼和歌の題
▲東京近郊の喰べ物

畫報

湯の宿 中澤弘光◉時代風俗 芙蓉と薄◉名流婦人令孃の筆の蹟◉韓裝の日本貴婦人◉和裝の韓貴婦人◉竹田宮御邸◉日本の娘さん◉岡部子爵後藤男爵の家庭◉泰宮殿下御歸京◉朝鮮婦人風俗◉婦人と能◉朝香宮殿下御外出◉各婦人會の水害慰問の景況◉朝鮮李王同妃殿下 李大王殿下
◉六名家令孃鑑◉挿花のかゝみ◉日韓貴婦人集合◉趣味ある盆栽盆石◉山梨の松操會◉文部省の音樂講習◉母と娘の一日◉韓服と目賀田夫人◉樺太婦人會◉ウイルミナとブル◉信愛相愛二高女校◉御下賜品と新郎新婦

讀物

皇后陛下御歌註解……幸田延子
▼歐洲の音樂界
▼能く働く婦人……宮川壽美子
▼新歸朝の女文學士訪問……記者
▼朝韓婦人の一長一短……三谷民子
▼婦人と法律……川ゞ法學博士
▼秋と小兒……弘田醫學博士
▼日韓合併の由來……
▼十月のお惣菜……里子
▼勇婦勝女……いれ子

東京麴町區飯田町四の四 東京社 電話番町二三三九 振替一一八一八

はやり帶揚 お帶帛紗 伊達巻るい
京都京極四条角 京屋清
電一九三〇

ちゝぶめいせん めりんす 二子るゐ
東京人形町通り 赤のれん おばなや本店
電濱四三四五

妾事薄毛にて種々藥を試しも效なく醫博士令夫人より寄藥を得薄毛も濃くなり生えざる所迄毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の禮狀を受け不思議のまゝ尚困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ……
東京京橋越前堀一ノ四 河村愛子

良藥にして口に甘し
たんせきに すきはらにめし
あさだあめ 淺田飴
東京本店 堀內伊太郎 大坂支店 取次全國藥舖

(注意) 近來類似品を販賣する者あれば御買求の節は右瓶の形狀及び二頭の麝香獸に御注意を乞ふ市內賣藥小間物化粧品店に於て販賣致し居り候
芳香の永く保つ點にて高評也
麝香獸印 大瓶壹圓 中瓶六十五錢 小瓶二十五錢
ムスク香水
東京日本橋本石町四 松澤常吉

登錄商標
本品は佛國モンネット會社特製の新香料と白ばら「スミレ」の芳香を永く保つ
星美人香水
定價 大瓶壹圓 中瓶五十錢 懷中用廿五錢
東京瀬戸物町 中岡太洋堂

タカヂアスターゼ
▲高峰博士發見特許製法に由る消化新藥▲强度一定効力永久不變
▲類似模造品あり「タカ」の冠字御注意▲各地有名藥舖にあり
發賣元 東京日本橋室町三丁目 三共合資會社

新刊
共立女子職業學校 東京女子美術學校 實踐女學校 教師 伊澤峰子著
家庭實用 小兒洋服裁縫全書
▲無代進呈 圖書目錄▼
小兒を完全に保育せんとするものは小兒洋服の仕立方を知らざるべからず▲洋服は小兒の性情に適する理想的の服裝なり▲洋服は運動を輕快ならしめて形狀色彩の美を兼ね洗濯に便にして其材料低廉なり▲洋服の仕立方の基礎を知らざれば洋服裁縫敎授を完全になす能はず▲洋服裁縫の基礎を知るは應用力を増進するの基なり▲本書は洋服裁縫の基礎を悉く圖解を附し詳細に說き次で洋服裁縫の奧義を容易に知らしむる也
洋裝美製全一册 正價金壹圓三十錢 郵稅八錢
東京日本橋 大倉書店發行
電本四一四 振替口座東京二三八

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫院案內

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

産科婦人科
小兒科
牛込區納戸町三六
電話番一〇四〇番
野中醫院

◉**産室增築落成**
日本橋區濱町貳丁目十一番地
産科婦人科稻生醫院
電話浪花三三四三番

○**婦人科○産科○**
飯田橋電車停留場脇
中島襄吉

日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
濱町病院 産科 婦人科
院長醫學士 **小林八十七**
醫學士 貴家學而
醫學得業士 杉原格藏

◎**産科婦人科**
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

水原産科婦人科病院
○神田猿樂町十二番地
○電話本局千八百九番
○院内ニ産婆學校あり

東京神田區美土代町三丁目十七番地
内科一般 午前宅診 午後往診
板垣亨
電話本局貳千九百七十番

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麹町區四番町四番地（電話番町貳三八四）
醫學士 **中山敏樹**

内田病院
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士 **内田愼太郎**
（電話下谷七一八）

産科、婦人科、嬰兒科
午後二時より五時迄〇入院應需
神田三崎町（三崎町停留場下り）日本大學後
醫學士 **佐久間兼信**
電話本局五八二

産科、婦人科、乳兒科
（診察午前、夜間）入院隨時
神田區須田町神田郵便局前
（電話本局一六一九）
醫學士 **山本惠三**

産科 婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長 醫學士 **天本治**
（入院隨意）
（電話下谷二六六九）

腦神經衰弱リウマチス、脚氣、神經痛、耳鳴、胃腸病、婦人病（少も痛みなし）
朝七時より二時迄
安島鍼術治療所
日本橋區元柳町八（兩國橋下車）
安島廣三郎
（電話浪花三一一）

…（診察時間）…
○**産科、婦人科** 入院應需
月、水、金午前 橋爪病院（浪花二六〇番）（日本橋區龜島町一の廿九）
毎日二時ゟ五時迄 自宅（下谷二四八七）本郷區湯島町十五番地
醫學士 **橋爪哲造**

醫學博士 榊順次郎 毎日午前診察
醫學士 久保德太郎 日曜水曜午後婦人科的外科
醫學士 田代謹二 火木土曜日午後泌尿器病及内科
●●施療火木土午後自一時至二時
●●施療姙婦産婦ヲ取扱フ
婦人科産科 榊病院
麹町區三番町三三（電話番町三九五）

産科婦人科小兒科 **女醫 鷲山彌生**
診察時間 院長 毎日午前八時より 醫員 毎日午後三時より
内科部長 **醫學士 武智基造**
診察時間 火木土午後壹時より
病室及産室の設けあり入院隨時
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院 電話番町二二五七

◉**院長** ドクトル **木村順吉**
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇）
婦人科産科木村病院

産科婦人科專門
診察毎日午前 入院隨時
淺草區左衛門河岸
電話下谷一〇二八
岩田病院

岩佐病院 日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）
診察時間 自午前九時至正十二時
内科婦人科 院主 岩佐純
内科 院長 ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
産科婦人科 醫學士 佐久間兼信
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

喘息治療血清液分與
遠隔使用者は醫士を經て申込事
詳細は別冊呈す（二錢要）
自宅毎日診察
東京芝區三田通り春日下
三田醫院 **奧山伸**
●●梅毒性諸疾患 慢性重症トラホーム
●●チブス豫防免疫は從前の通り

生殖器病科
診察朝八時より夜九時迄
梅どく **り**ん病 **ぢ**疾症 **わ**きが **神**經衰弱症 ●皮膚病●ほ黒
東京淺草瓦町廿八 瓦町電車停留場横
中央藥院

生殖器病專門中央醫院處方
梅毒 横根 下疳 **りん病・ぢ**疾症・**皮**膚病・**わきが**
生殖器病 **神經衰弱** 記憶力減衰 陰萎夢精遺精早漏陰莖發育不充分
●病状を記し郵券六錢送れば其病を速治する特効新藥説明書を呈する
東京淺草瓦町廿八 瓦町電車停留場横
中央藥院

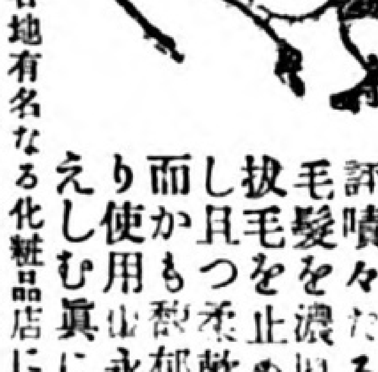
東京日本橋區堺町通ふきや町
電話浪花千二百七十一

にきび をとる有効化粧液
チプリ
到る所に販賣し升
價アフム入 二十五錢
東京本石町
松澤常吉

産科婦人科一般
神田區佐久間町二丁目十七番地
松岡醫院
電話下谷三七五六番

婦人科 産科
醫學博士 千葉稔次郎
醫學士 中島襄吉
本郷根津 **眞泉病院** 下谷電四三九
内科
醫學博士 栗本東明
醫學士 野村華造
醫學士 白川彌源太

◎**産科。婦人科**
◎**内科。小兒科**
小石川區江戸川二六
電話番町（一四二六）
森種太郎

●毛髪洗滌液 **ペトロール、ハーン**
頭髪の薄さ、惡しき、拔毛に苦しむは目下歐米到る處に高評嘖々たるものにして毛髪を濃厚にし、フケ拔毛を止め、光澤を増し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用中永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり

代價 小瓶一圓廿五錢 大瓶二圓
（各地有名なる化粧品店にあり）
横濱市山下町七十番 エー、ハイム商會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大一

御衣更へ御用命を奉願候

當店ハ常ニ嶄新なる流行品取揃居候 御注文ハ迅速御指定の品御送り申上候

地方よりの御注文ハ

熊谷呉服店

京都市四條御旅町

(長電三十五番)(振替口座大阪五)

皆様

今日もまた丈夫で元氣で心から愉快に「暮す様」

「ゼム」を今すぐ召上れ

▼各國各薬店にあり

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側

御影堂 持阿彌

婦人世界

拾月一日發行 第拾壹號 一冊 拾五錢 郵税一錢五厘

▼日本婦人は自ら幸福を感ぜよ……村井弦齋

▼賣薬を行商して歩く私の苦しみと樂しみ……藤本照惠子

▼我が半生の哀史 女子高師教授黑田夫人……黑田鏗爾子

▼水害地を廻つて見聞した感心な婦人……金子貞子

結婚 昔の理想 後の實際……櫻井中尉夫人

▼明治初年に寫眞屋を開業した苦心……江崎夫人

▼小兒病の豫防法……加藤博士

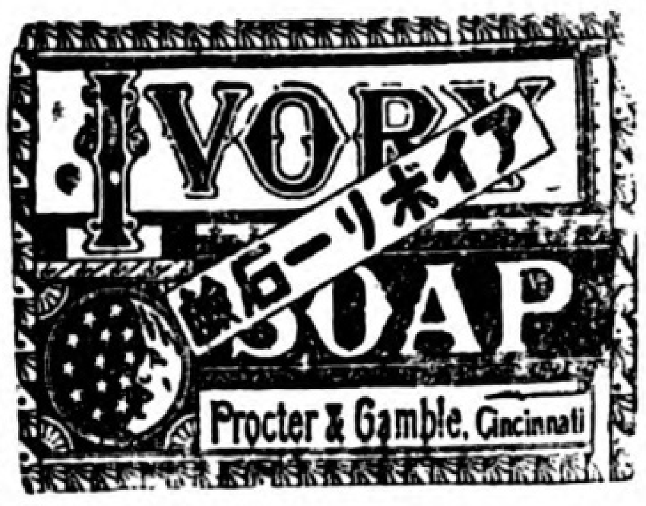
▼女學校の校長米屋となる……深田憲治

▼私が朝鮮王に謁見した模様……目賀田男夫人

七晝夜水に責め遭ふ……福來博士夫人

秋季增刊『婦人と實驗』十月五日發行 定價十五錢

東京京橋南紺屋町十二 實業之日本社 (郵便振替貯金口座三二六番) 賣捌 全國書店



日本輸入品に限り包裝紙に斜に「アイボリー」石鹸と記入し一見模造惡質石鹸と判別に容易ならしむ御購求の節「アイボリー石鹸」に御注意を乞ふ

和洋裁縫生徒募集

文部大臣認定 私立和洋裁縫女學校

本校教員養成科は文部省裁縫科檢定試驗を受くる資格を得 各科毎月募集

東京市麴町區飯田町九段中坂上

電話番町千九百七番(通稱堀越女學校)

大德用

愛國婦人會御用

カマス入木炭

定價十貫目 上一圓四十錢 中一圓三十錢 下一圓二十錢

此他木炭ハ何品ニ係ラズ御用立申ベク御用ノ節ハ御入用日三日前御通知被下度候

牛込區市谷富久町二二 横山木炭店

二枚櫛並に中差簪等種々取揃申置候

目下東髮界に持て囃されつゝ有る割れたる珍奇の貝類を巧妙に取合せ調製したる

世界流行の中心たる佛國巴里の交際場裡に於て目下最も流行しつゝある季節向の東髮用

タボ櫛

三枚櫛

リボン

ブローチ

等種々新着仕候間御光來の程希上候

尚御持古しの小間物交換仕べく候

東京市神田須田町(電話本局二〇七六番)(振替口座二八一一番)

小間物商 三井屋德次郎

京橋區新橋際 博品館内支店

神田裏神保町 東明館内支店

POMEROYSKIN FOOD.

ポメロー井

皮膚滋養剤

▲老も若も試用せよ、
▲郵券四錢送らば試用劑無料郵送す

本劑は英國科學大家の調劑にして皮膚を柔軟げ、滑かにし、加ろに光澤を帶ばしむる滋養劑なり。容貌を美化せしむる適劑はポメロー井皮膚滋養劑唯一。

製造元 英國倫敦カナビー街 ポメロー井株式會社

日本一手發賣元 本店 神戸生田前 ラ、ビル、デ、バリー館 支店 東京京橋區山下町十八番 ラ、ビル、デ、バリー館

Mrs. Pomeroy, Ltd,
33 & 34 Carnaby St, London.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●開運致富の一大著述の施與!!!

▲何れの家庭にも備へ置くべき必要ある此書物は著名なる科學協會の會長エツキス、ヲ、モツト、セージ博士の著はされたる博愛的傑作也。

開運致富の著述施與者

哲學博士、法學博士、文學士エツクス、ヲ、モツト、セージ博士

會長セージ博士は開運致富の書物を施與す。書中、心理感應術、催眠術其他人生の成功に關する問題を解說し非常なる趣味を有する實用的敎訓の溢るゝ最も有益の著書なり。加之人生の初步にある青年には眞正の勇氣を與へ、前進力を與へ、諸種の障害又は困難に打勝つ力を得せしむ。中年の人には知己を求めて永續せしめ、社會の指導者たらしめ又彼の實業界の意向を感應し、人生に於ける標目たらしめるものなり。各親達に取ては小兒を惡しき性質邪しまなる傾向を根絕し道德的才能を强固ならしめ疾病を除去するに缺くべからざるものにして、神の望み給ふ如く生長發達せしむるものなり。各宣敎師に取りては其信仰に於て動搖せんとする時、意志の堅固を保たしむるに缺くべからざるものにして誘惑に係る罪惡より道義、忠實、善行に變化し助長せしむるものなり。各法律家に取りては陪審官を威懾せしめ證人を統御せしむる力を與へ、一語は一語より人を心底より服せしむべき有力なる方法にて其論旨を主張せしむる力を與ふるものなり。何人たるを問はず皆成功、快樂、幸福を望むは天禀の性として離るゝこと能はざるなり。若し諸君にして何事にも成功し居らずとせば其は諸君が人間の思想及精神を統御する、此の不思議なる力を知らざるが故なり。若し又諸君が成功し居るとせば、此神秘的威力を修得すれば彌一段の成功を爲すことを得るものなり、必竟自然が諸君に賦與する此神秘的なる感應力を運用する事を學ぶにあり。セージ會長の著書は何人も此偉大にして精練なる力を持つて生れ來たり居ることを證明し亦其力は何人たりとも自宅にて獨習し容易に練習し又各自の思想を秘密の內に成就して人を感應せしむる不思議なる力にして善良なる無限の資格を有するものなり。本書を學びたる學生諸君の書翰の拔萃を下に掲げん。

英國士チエヤイヤー州ナントウイツチ市ホスピタル街百十九番地トーマス、ハムマースリー氏の紙面

小生は催眠術、心理感應術及感應的治療法等の貴會の學科に就て如何に多く小生の本書に對する眞價を高めたるやを告知す〻機會に接し候事歡喜のいたりに御座候最初小生は此術を修練し成功したることを自覺せしにも拘らず小生自身にすら信じ得られず僞物ならんかと疑はらるゝ程其結果の顯著なること知り。大に驚入候小生は人に對し實驗相試候處何れも成功致し未だ一回も失敗したる事無之候而して其各項目悉く簡單なる語にて容易に了解し得らるべく記述せられたれば何人にても之れを學ばんとするに殆ど困難なく學び得らるゝものなることを明言致候終りに貴會の御成功を相祈申候早々

スコツトランド、セルカーク州フイリツプスホー聯隊曹長官、ウヰリアム、エフ、ベンネツツ氏の紙面

數日前小生が催眠術等に就き貴會の御敎訓の課程を研究して以來小生の得たる成功に關し御返信申上候小生は貴會の學科に就き賞讚するに多言を要せざるものと存候何となれば小生が通讀仕候ものの內最良なるものにて小生は數種他のものを所持仕候得共何れも貴會のものに比較するに足るもの無之故に御座候小生が最初催眠術を施したるは小生が課程を受取りたる後一時間目に御座候其後數百度施術仕種々の疾病を癒し申候特に齒痛頭痛の如きは恰も手品の如く全快仕候小生は貴會の學科の功験に關しては何人に對しても證明するを躊躇せざるものに候謹言

濠州ニューサウスウエルハグラフトン市オー、エル、イブマングハム氏の紙面

小生は貴會の御敎授を研究する事により大なる利益に誘導せられたるを認め申候事欣喜の至に御座候其學科は知得し實用するに從來の生活を一新改善し尙ほ向上發展せしむるのみならず更に一層同鄕民に大に貢獻する所あるものに御座候頓首

セージ會長は無代價にて頒布する爲に新書を二萬冊和譯印刷されたれば諸君が催眠術に就き、又一世の不思議なる科學に就き、又心理感應力に就き、又思考力に就き、又感授治療法に就き、又同性質の學科に就き、學ばんと欲せば直ちに送附を申込まれよ、諸君は言ふべからざる歡喜と秘傳と裨益とを享受し得べし。蓋し出版界古今未曾有の著述たるべし。又セージ會長は毫も野心を有するものにあらず、全く公衆の裨益を計る爲めに施與する書物なり。博士は病院圖書館其他此種の何物にも博士の財產を寄贈するよりも一層の快事と爲すことゝ信じ且つ多くの青年に專門學校の敎育を與ふるよりも價値ある書物を諸君に提供するもの也。此書物を準備印刷するに多くの費用を要することなれば特に生涯を自ら改善せん爲めに趣味を持つ人。又は此書中の敎訓を實用的に使用せんと望まるゝ人のみ四錢の萬國聯合郵便葉書にて申込あらんことを望む。

文通は日本文、宛名は英語にて左の通り表記せよ

亞米利加合衆國紐育州ロジエスター市紐育科學協會第六百十二部ケー

NEW YORK INSTITUTE OF SCIENCE,
DEPT. 512, K,
ROCHESTER, N. Y.,
U. S. A.

最上醬油

品質優等ニシテ調理ニ適ス

發賣元 日本橋區小網町三丁目廿七番地 濱口吉右衛門

釀造元 下總國銚子町 濱口吉兵衛

宮內省御用達

最上醬油之元祖

開業貳百六拾六年

釀造元 下總銚子町 濱口合名會社 振替貯金口座五〇貳壹番

色白く艶をだす 松澤ホーサン石鹸（大形廿錢 小形十錢 新小角十錢）

●近來類似品あれば御買求の節は上部の商標に御注意を乞ふ○市内賣藥小間物化粧品店にあり

東京本石町四 松澤常吉

第四回 新學期開始

女子大學講義

○入會絕好機○會則（申込次第）送呈○本月中入會申込入會金免除（會費一ヶ月金五拾錢二ヶ年修了）

○編輯局 日本女子大學校櫻楓會

○發行所 東京小石川區久堅町一〇八 精美堂 電話番町九三二 振替口座東京二八二八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

身長ヲ増シ肩幅ヲ廣クス

●何人も端麗なる容貌を保つことを得

▲簡易なる方法に依りて身身を二吋乃至五吋を増し肩巾を廣くし胸廓を擴大する可驚最新の發明何等の手術を施すことなく又電氣力を應用せず藥種をも施用せざれば些の苦痛もなく且つ時間を空費するの虞なければ業務上更に支障を來すことなし此方法を用ふるには老幼男女の別なく自宅に於いて極めて秘密に行ふことを得るのみならず最も良好なる成績を收め得べしされば何人と雖も此の方法を用ひて美果を收め得ざることなきを斷言す有效の證明は世界著名の醫家科學家、體育協會等に依りて保證せられ居るのみならず屈指の專門學校大學等は悉く此方法を採用せり

●美麗なる説明書無代贈呈

▲諸君にして身長を增し端麗なる容貌たらんと欲せば速かに申込まるべし美麗なる圖解を挿み懇切に方法を説明したる興味ある書冊を無價にて贈呈す世の紳士淑女は速かに此の秘密の方法を知得し交際界における令名を博せられよ

説明書御希望の方は萬國聯合端書にて左記へ宛て申込まれたし

CARTILAGE COMPANY,
DEPT. 121. A,
ROCHESTER, N. Y.
U. S. A.

米國紐育州ロチエスター市
カーチレーヂ會社　御中

模範

第二號　十月十日發行
定價拾五錢　郵税壹錢五厘
半年分六冊金九拾三錢
第壹號　初版賣切　再版三版出來

家庭及び青年士女の好伴侶

■婚嫁期に於ける女子の衛生……鷲山女史
■物事に必ず音樂の伴ふ歐洲……幸田女史
■模範として世に頒たき矢野氏の家庭……栗屋樂子
■千野眼婦人に就て……今村博士
■結婚するにはこれ丈の覺悟を要す……山脇房子
■幼主を守りたてゝ主家を再興せし稀世の忠婢
■二人の女學生に作らせて見たる家庭……矢島揖子
■味ふべきトルストイ伯の言葉……鳩山春子
■自由選擇力に乏しき日本婦人……水野葉舟

●倉廩を庶くして十四人を救ひし奥賀友山●商業道德の缺陷澁澤男●飯釁にて奮闘したる余の半生岡崎雪聲●現代の青年に對する要求日比翁助●爲法不爲身の覺悟を以て働け下條文雄●朝鮮に於ける有利の事業鶴原定吉●石鹼の撰擇法鹽入淺吉●一鄕の美風に感化されて母に孝なりし女髮結●家政に就て……宇川綠子●時候ものゝ貯藏法●盲啞敎育に就て●模範寄宿舍●姙娠中の注意十一ケ條●講談：關根彌次郎一龍齋貞山

發行所　東京市神田旅籠町　文光堂　振替口座東京一五一五九

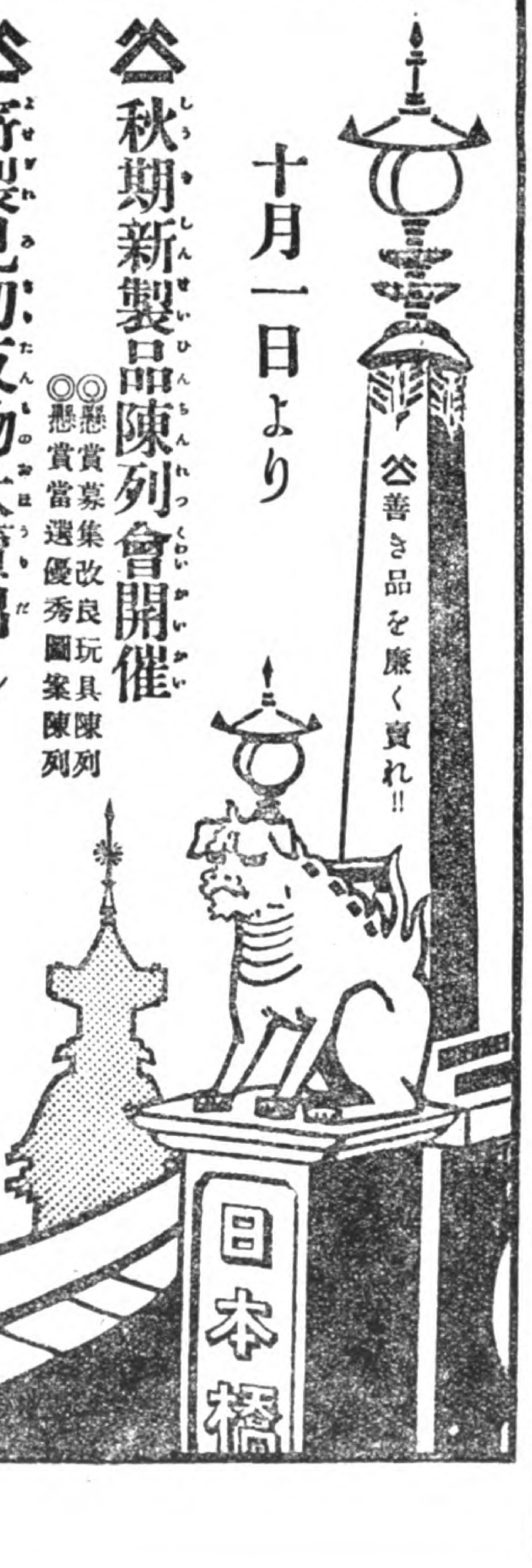
十月一日より

秋期新製品陳列會開催
◎懸賞募集改良玩具陳列
◎懸賞當選優秀圖案陳列

寄裂見切反物大賣出し

尚店内には光線應用による千變不思議なる餘興の設備も有之候間何卒倍舊の御愛顧を賜り永當の御來遊御買上の程切に奉願上候　敬白

東京日本橋
白木屋吳服店



最上醬油

於日英博覽會
賜名譽大賞牌

カギイ

到る所の酒醬油店に販賣す

下總銚子港
釀造元　鶴屋吉兵衛

明治四十三年十月一日發行（每月一日、十五日二回）（定價金三錢五厘一ケ月金七錢郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）
編輯人　竹内貞三
發行兼印刷人　山澤俊夫
發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所
印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南槇町七　大興社
京橋區南紺屋町一　一星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區　廣告社

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

▲理事・參事會　本會役員會は酷暑中休會せられたるが去月十九日、今秋第一回の理事、參事會を本部樓上に開催せられ、岡部會長及三輪田、棚橋、濱尾の三理事、關、山脇、丹羽の三參事會員出席の上種々協議せられたり。

▲沖繩支部總會　來る十二月上旬沖繩支部に於て赤十字社同地支部總會と同時に第一回會員總會を開催する筈に就き兩總裁宮殿下の台臨を願ひ出でたるが既に御聽許相成りたりと。

▲討蕃隊慰問袋に就て　豫て募集中なりし第一回討蕃隊慰問袋は豫期の如く去る八月十日を以て締切りたるが總應募金額四千七百五十三圓七十七錢に達したるを以て之れを臺灣支部に送金したるに臺灣支部よりは左記の如き謝狀を送られたり

拜啓
益々御清穆慶賀の至に御座候陳者蕃人に生蕃討伐隊へ慰問袋御寄贈の目的を以て弘く御募集相成候處總裁宮殿下を始め貴會並に全國各支部共深き御同情の下に第一回分として多額の金員御取纏め御送附被成下御厚配の段奉深謝候就ては討蕃隊の狀況に鑑み漸次に慰問品購入寄贈の事に取計可申候條右の趣總裁宮殿下へ可然具申相願度尙各支部に對しても宜敷御致聲被下度先は右御挨拶迄斯如に御座候敬具

明治四十三年九月八日
愛國婦人會臺灣支部
副長　宮本悦子
同　石井靜子

愛國婦人會長
子爵夫人岡部坻子殿

▲支部の移轉　島根支部は松江市殿町三百六十九番の六に移轉し、▲長野支部は豫て長野市縣町に事務所及授產場を建築中なりしが略落成したるに由り去る九月二十日同所に移轉したり。

▲囑託及退職
臺灣支部長を囑託す　臺灣總督府民政長官內田嘉吉夫人　內田りん子
　　臺灣總督府民政長官　內田嘉吉
臺灣支部顧問を囑託す（九月三日）
長崎支部長　荒川菊子
同　顧問　荒川義太郎
函館支部顧問　竹內與兵衛
右轉任に付退職（九月十六日）

▲有功章其他の贈與

二等有功章	岐阜支部幹事部長	竹內さき子
同	同	若林安子
三等有功章	同	齋藤良子
同	同	大野あや子
同	同	內藤岩子
同	同	窪田珠子
同	同	石田きし子
同	同	石田英子
同	同	寺田英子
同	同	山內ろく子
同	同	日下部酉子
二等有功章	同幹事	記野だい子
同	同幹事部員	村井信次郎
三等有功章	同事務員	總山文兄

右功績に依り頭書の通り贈與

三つ組木杯	岐阜支部幹事部顧問	竹內伊之助
同	同	若林卓爾
同	同臨時	山田寛一
同	同募集員	流邊次郎
木杯一個	同事務員	齋藤實直
同	同顧問	大野薫
同	同	內藤兼雄
同	同	窪田武洪
同	同	石田英壽
同	同	石田安太
同	同	寺田救一
同	同	山內權次郎
同	同	柿元一兵
同	同事務員	上村末吉
同	同	堀田直次郎
同	同	山田紀一

右功勞に依り特別謝狀及頭書の通贈與

岐阜支部幹事部幹事	高島みわ子	同	淺野みの子
同	三谷とみ子	同	伊藤こう子
同	小川じやう子	同	三谷はる子
同	小川てふ子	同	岩佐いく子
同會員	武藤いよ子	同	森まつ子
幹事部事務員	木村[illegible]三	同	平野秀齋
同	鷲見虎五郎	同幹事	武藤ひで子
同	服部たき子	同	下條との子
同	村瀬まつ子	同會員	村瀬若枝子
同	田中しま子	同	高橋きと子
同	櫻井まつ子	同	高井なみ子
同	高屋きく子	同	高井たけ子
同	早矢仕あさ子	同	勝村しづ子
同	星野はる子	同委員	內木又六
同事務員	嚴田郁郎	同	高橋貫一
同	岡島甚太郎	同	奥村元瑋
同	丹羽源九郎	同	松井鶴吉
同	伊佐治由太郎	同	鍵谷永太郎
同	伊崎千代太郎	同委員	河村庄太郎
同	尾家安之助	同幹事	三井しづ子

右功勞に依り第一種謝狀贈與（九月二十日）
青森支部　堀江さだ子
右金五十圓寄附に依り三等有功章贈與
秋田支部元評議員　財部梅子
右功勞に依り特別謝狀並扇子一本婦女鑑一冊贈呈（九月十九日）

東京支部

明治四十三年八月東京支部下水害罹災者（軍人遺族癈兵）へ臨時救護金を贈與したるもの左の如し。
但し四十三年九月十九日施行。

郡區名	救護人員	金額
下谷區	二十九人	百十五圓
淺草區	八十一人	四百七十六圓
本所區	百四人	三百七十三圓
深川區	二十一人	百二十六圓
荏原郡	二十五人	百五十二圓
北豐島郡	二十七人	百五十五圓
南足立郡	六十三人	四百圓
南葛飾郡	三十七人	百六十一圓
南多摩郡	未詳	
北多摩郡	同	
合計	三百八十七人	千九百五十八圓

本金額は本部よりの臨時救護金配當額に支部救護金を加へ配付せしものなり。

北海道支部

▼委員部總會▲

部內宗谷幹事部船泊委員部會員第一回總會を本年八月廿日午後一時船泊小學校內に開催出席會員六十名委員眞壁軍治は總裁殿下御令旨奉讀一同起立敬禮次に會務及將來の希望、北海道支部長の祝詞代讀宗谷幹事部顧問山上鎮八郎氏の祝詞朗讀、終て餘興數番あり午後六時半一同滿足の內に散會せり。

岐阜支部

特別通信

▲孝子の表彰

本紙二百五號及二百六號に掲載したる岐阜縣土岐郡曾木村の孝子小木曾つぎに對し去月賞勳局より左の如く表彰せられ賞金の御下賜ありたるが七月十七日土岐郡教育會に於て孝子表彰式を擧行したり

岐阜縣土岐郡曾木村　小木曾つぎ

資性溫順齡二十二にして居村の農金十に嫁し克く婦道を盡す殊に夫の本家に在りし姑性頑冥にして家庭常に紛擾の絕えざるを憂へ夫に說きて之を自家に迎へ承歡奉養到らざるなく姑亦其至誠に感じ遂に其性行を一變するに至らしめ加ふるに夙夜農耕を勵み暇あれば則ち行商を爲して窮乏を補ひ以て子女を敎養し又嘗て生家に在るや父の素行修らざるを嘆じ竊に隣縣に出て某家の婢と爲り其得る所の賃錢を蓄へ歸て父を苦諫して正業の資と爲さしめ產を興し身を立たしむるが如き至行あり一家輯睦志操を變せざること十有二年一日の如し閭鄉咸な其孝を稱す洵に奇特とす依て爲其賞金二十圓下賜候事

明治四十三年六月三日
賞勳局總裁從二位勳四等伯爵　正親町實正

富山支部

▲優待員慰藉活動寫眞會▲

軍人遺族並癈兵者慰藉及會旨普及活動寫眞會を去る六月より八月迄開會開會月日場所を擧ぐれば左記の如くにして何れも非常の盛況なりき。

月日	場所	來會者數
六月十八日	婦負郡宮川村萬歳寺	八百名
同十九日	同八尾町明治座	六百名
同二十日	同	七百名
同二十二日	下新川郡三日市町護法寺	二千名
同二十三日	同生地町願樂寺	千二百名
同二十四日	同入善町小學校	千名
同二十五日	同南保村常泉寺	五百名
同二十六日	同魚津町蛭子座	六百名
同二十七日	同片貝谷村宗洲寺	八百名
同二十八日	同下中島村小學校	七百名
七月二日	中新川郡滑川町東雲座	五百名
同三日	同男子校	千三百名
同四日	同東水橋日吉座	五百名
同五日	同上市町小學校	七百名
同六日	同五百石町松山座	五百名
同七日	同	五百名
同八日	同利田村小學校	六百名
同十二日	婦負郡杉原村小學校	九百名
同十三日	同卯花村小學校	四百名
同十四日	同小田村蓮敎寺	六百名
同十五日	同[illegible]川村小學校	四百名
同二十八日	上新川郡廣田村養性寺	七百名
八月一日	氷見郡氷見第一小學校	千二百名
同二日	同第二小學校	七百名
同四日	同十二町村小學校	千名
同六日	同阿尾村願生寺	六百名
同七日	同藪田村光禪寺	六百名
同十四日	下新川郡前澤村小學校	八百名
同十五日	同西布施村光學坊	九百名
同十六日	同松倉村神明社	千名
同十八日	同三日市町小學校	千二百名
同十九日	同若栗村實照寺	八百名
同二十日	同荻生村小學校	八百名
同二十一日	同相ノ木村小學校	千二百名
同二十四日	上新川郡月岡村西光寺	六百名
同二十五日	婦負郡黑瀬谷村小學校	四百名
同二十六日	同千里村小學校	千名
同二十七日	同熊野村小學校	八百名
同二十八日	同百塚村小學校	四百名
同二十九日	同四方町小學校	千二百名
同三十日	八幡村小學校	六百名

秋田支部

▲創設以來の概況　通信員所報

▲支部の創設　明治三十五年一月始めて職員組織成立し會員募集に着手す。

▲會員

明治三十五年末調	二百三十二人
同三十六年末調	二百七十六人
同三十七年末調	二千百五十七人
同三十八年末調	三千五百九十六人
同三十九年末調	一萬二千七百廿八人
同四十年末調	一萬三千百四十二人
同四十一年末調	一萬參千五百廿八人
同四十二年末調	一萬四千四百十一人

▲會務　創設當時は會員極めて少く事務亦簡易なりしも日露戰役に際し會務頓に振興し出征軍人後援傷病兵及遺族の慰問救護等に極力盡瘁し能く其實を擧くるに勗めたり、戰後會務擴張の必要に迫り明治三十九年九月總裁殿下の台臨を仰ぎ支部第一回總會を開催し會員增募に努めたる結果總會當日迄に會員一萬二千餘名に達せり爾來尙勸誘增募に怠ら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ず目下一萬四千百餘名に達せしも將來尙一層奮勵し本會の目的たる女子人口百人に付四人の比例に至らしめ會員合計一萬六千人以上に達せしめんことを期す

▲定期救護　明治三十六年三月以降四十二年十二月迄軍人遺族癈兵に救護金を贈與せし人員七百七十一人金額七千五十九圓五十錢なり。

▲臨時救護　日露戰局中本部より配付を受け弔慰金として贈與せし人員三十一人金額九十三圓なり又支部に於ては有志者より寄附を募り又は音樂會展覽會講談會等の開催により得たる金千四百六十四圓五十一錢九厘を傷病兵及出征軍人留守宅慰問料其他裁縫洗濯藁工品製作材料の給與窮困者無料施療孤兒養育料又は軍人慰藉會軍人家族採産會等の寄贈に充てたり、明治四十二年九月二十八日歩兵第十七聯隊一等卒小野森之助外十名勤務演習の途中雄物川に於て激浪の爲め艀覆沒し遂に死去せしに付き其葬儀に支部長以下會員數十名會葬し各遺族に見舞として金三十三圓を贈與せり。

▲明治四十一年以降各幹事部總會に參列せし遺族癈兵中生活困難者に臨時救護金五百三十三圓を贈與せり此人員五百三十三人なり。

▲學用品給與　戰病死者及癈兵の子女弟妹にして一家の生計困難なる爲め尋常小學校の敎育を受くる能はざる兒童に明治四十一年以降金九十三圓二十五錢の學用品を給與せり此人員二十四人なり。

▲事業　明治三十九年以來遺族癈兵並に其家族授産の爲め左の通り傳習所を開始せり。

●鹿角郡幹事部花輪町木通蔓細工傳習所
傳習期間　明治三十九年十二月乃至翌年四月の五ケ月間
傳習生　二十七名（總て軍人遺家族癈兵家族たる婦女子なり）
經費　金七百五十八圓九十五錢

●北秋田郡幹事部大館町木通蔓細工傳習所
傳習期間　明治四十年六月より同年十一月に至る六ケ月間
傳習生　十七名（軍人遺家族の指導敎師たるべき目的）

●鹿角郡幹事部毛馬內町木通蔓細工傳習所
第一期傳習期間　明治四十年十二月より四十一年五月に至る六ケ月間
傳習生　三十六名（內軍人遺家族二十名）
經費　金千百四十八圓二錢
第二期傳習期間　明治四十一年十一月より四十二年三月に至る五ケ月間
傳習生　二十名（總て軍人遺家族）
經費　金七百三圓五厘

●雄勝郡幹事部湯澤町本通蔓細工傳習所
第一期傳習期間　明治四十一年五月より同年十二月に至る六ケ月間
傳習生　十八名（內癈兵、遺族十名）
經費　金千百四十九圓
第二期傳習期間　明年四十二年二月より同年七月に至る六ケ月間
傳習生　二十六名（內癈兵遺族二十名）
經費　金千百七十五圓

●仙北郡幹事部角館町木通蔓細工傳習所
第一期傳習期間　明治四十一年四月より同年九月に至る六ケ月間
傳習生　二十名
經費　金七百六十五圓
第二期傳習期間　明治四十二年十月より四十三年七月に至る九ケ月間
傳習生　二十六名
經費　金千百圓

●秋田市幹事部授産場開始準備中
●南秋田郡幹事部養蠶傳習所開始準備中
經費合計金六千七百四十八圓九十七錢五厘也。

●明治四十二年十二月北秋田郡幹事部內生活困難なる遺族癈兵に對し現金救護に代へ生業扶助として田所式製繩器械を交附せり其の員數價格人名左の通り
製繩器壹臺　此代金二十八圓廿五錢也　北秋田郡扇田町　遺族　佐藤恒吉郎
同一臺　此代金前同斷　同郡米內澤町　遺族　石崎ケン
同一臺　此代金前同斷　同郡上大野村　遺族　關シゲ
同一臺　此代金前同斷　同郡阿仁合町　癈兵　加藤忠治
合計百十三圓也

▲木通蔓細工傳習修了生の成績　傳習期間短しと雖も傳習生は相當に技能を修得し或は單獨に或は共同して其製作に從事せり一日工賃優者は四十錢劣者は二十五錢以上に當れり生活上便宜を得て各製作に勵み居れり又鹿角郡花輪町傳習生中現に秋田感恩講保育院敎師として招聘せられ專ら斯業の敎授に從事するものあり。

▲事業將來の見込　木通蔓細工品の材料たる木通蔓は自然生のものにして本縣山野より容易に採集するを得且つ細工の方法簡易なれば遺家族癈兵等の事業として適當せるのみならず所謂廢物利用の途に適ひ地方の受ける利益蓋し鮮少に非ず殊に鹿角郡は本業の着手他の郡より早かりしと鹿角郡軍人援護會亦支部傳習と相俟つて本業の普及を謀りし爲め今や着々進歩の實績を着はし鹿角郡物産株式會社なる機關を利用して材料の蒐集又は製作品の販賣を爲し郡有數の事業となれり其他北秋田郡の大館に於ても亦此種の機關略備はれるを以て是亦將來に望みあり又雄勝仙北の二郡も追々此種の助長的機關の設置を見るべく抑も本製作品は創業後日尙淺く僅に東北二三縣の地に製産せらるゝに過ぎざるを以て生産額未だ需要を充たすに足らず隨て販路の擴張は今日尙其餘地甚だ多く今後生産額を增加するも供給超過を見ざるは勿論原料亦豐富なるを以て不足を告ぐる憂なく將來益々意匠を研究して海外輸出の途を講せんか是又大に望あり要するに本業の發展は獨り本會事業として有望なるのみならず今や縣內一の物産となるに至れり。

田所式製繩器は傳習簡易にして直に就業し得べき組織の器械なり一日の製繩高七八千尺乃至一萬尺を綯ひ得る新發明の利器にして工賃一日優者は四十錢劣者は二十錢以上に當れり幼者と雖も容易に習得すべきものなるを以て遺家族癈兵等の事業として適當なるのみならず原料豐富なる本縣下に在ては將來有望の好事業なり。（完）

愛國婦人會神奈川支部職員名簿（續）

▲足柄上郡幹事部
幹事部長　菊池こと子
幹事　大島いと子
同　草柳とり子
同　田村あき子
同　武尾ふく子
同　加藤ひさ子
同　安藤かん子
同　小澤きみ子
同　井上こう子
同　田中くら子
委員　大島敬義
同　草柳善太郎
同　田村豐三郎
同　武尾志津摩
同　加藤重治
同　實方德三郎
同　小澤秀雄
同　井上近次郎
同　田中鉡次郎
事務員　瀧藤常行
顧問　菊池芳二
同　瀨戸こいと子
同　熊澤もと子
同　尾崎しげ子
同　鈴木なか子
同　石井ひさ子
同　實方てい子
同　田中千代子
同　渡邊しす子
同　杉山てう子
同　瀨戸駒吉
同　熊澤好太郎
同　尾崎義雄
同　鈴木忠次郎
同　辻村德三郎
同　安藤清十郎
同　田中房太郎
同　渡邊貞藏
同　杉山源治
同　露木要太郎

▲足柄下郡幹事部
幹事部長　石川田龜子
幹事　松島てう子
同　市川てい子
同　湯川ひさ子
同　楢原はま子
同　高橋きわ子
同　榎本のぶ子
同　小澤りさ子
同　山口たき子
同　二見もん子
同　吉田里子
同　加藤光子
同　吉松いく子
同　石井りふ子
同　渡邊りか子
同　金子まつ子
同　門松よれ子
同　市川泰藏
同　松井鎌三郎
同　榎本吉太郎
同　小澤顯次
同　山口金太郎
同　二見伊三郎
同　今井廣之助
同　椎野國太郎
同　木下楢治郎
同　古川勇吉
事務員　牧野好靜
同　椎野國太郎
顧問　石川疏
同　長谷川けい子
同　內野たま子
同　松井ひろ子
同　武川けい子
同　向笠ゆき子
同　依元えい子
同　林いよ子
同　飯持さだ子
同　勝俁たき子
同　辻村歌子
同　中田すえ子
同　今井はま子
同　椎野たひ子
同　木下みよ子
同　對木きぬ子
委員　松島莊次郎
同　湯川闘太郎
同　高橋好藏
同　田中利三郎
同　林清太郎
同　飯持重右衛門
同　勝俁隆治
同　石井萬吉
同　渡邊勘右衛門
同　金子豐藏
同　志村八郎
同　西尾平壷吉

▲愛甲郡幹事部
幹事部長　國松汐子
幹事　中丸かつ子
同　中村すん子
同　荻田むれ子
同　和田あい子
同　矢後きみ子
同　石塚つれ子
同　後藤宗七
同　森甚太郎
同　山田八十八
同　加川峰次郎
同　志村金太郎
事務員　大久保半[illegible]郎
顧問　國松英太郎
同　後藤まさ子
同　森すみ子
同　山口みわ子
同　加川ため子
同　志村てう子
委員　中丸重郎兵衛
同　中村得治
同　荻田稲吉
同　和田仁之助
同　矢後利晴
同　石塚初五郎
同　竹松大次郎

▲津久井郡幹事部
幹事部長　新山つた子
幹事　佐藤しんじ子
同　大內俊子
同　守屋きつ子
同　長谷川ちよ子
同　原ちえ子
同　和智仲子
同　樋本つた子
同　永井ふく子
同　神原きよ子
顧問　新山政清
同　坂本きぬ子
同　長田はな子
同　八木ちよ子
同　八木よし子
同　清水三保子
同　岡部なを子
同　佐藤あい子
同　天野千代子
事務員　江藤定吉

巖手支部

▲大洪水に就て

當支部內八、九月兩度の洪水たる其災害の甚しき未だ曾て舊記に見ざる所にして八月中の洪水は東海岸並北上川下流にして東、西磐井郡の如きは實に五十餘尺の增水に及び浸水家屋は一千九百餘戸にして堤坊の缺潰一萬五千四百九十間家屋の流失百十一戸橋梁の流失農作物の被害等慘狀實に筆舌の盡すところあらず因て當支部は軍人遺族癈兵の罹災者救助に盡瘁しつゝありたるに越て九月三日に至り猛雨沛然盛岡市を貫通せる中津川の濁流暴漲市內に氾濫し且つ橋梁全部を流失す沿岸の道路殆んど全き所なく流失家屋百八戸崩壞破損一千餘戸死者五名傷者二名を出し浸水の家屋實に二千五百餘戸に及ぶ被害民は財産の流失を顧るに暇無く只身を以て逃れんとして悲嘆叫喚し、警察官吏消防組等極力救護に努め更に騎工兵の有力なる來援あり爲めに災害の激甚なるに比して死傷者の少きを得たり又知事官舍も此災厄に罹り大部分流失し殘部は泥土に埋められ笠井支部長には赤十字社岩手支部內に避難するの止を得ざるに至れり宮地主事及小原事務員も激流の爲めに家屋の一部を破壞せられたるが急遽避難し僅に慘禍を免れたり其他郡部の被害亦少からず浸水家屋六千餘戸に及び未曾有の慘狀を呈せり。

當支部は即時副長、評議員、主事、幹事等熱心に市內の罹災軍人遺族及癈兵の慰問に從事し、事務員は幹事部事務員と協力して實地被害の狀況を調查し市部罹災者十四名には九月十四日縣廳內に於て岩田、時實兩相談役立會、支部長より贈與狀、宮地主事より救護金を傳へたり。

尙今日迄に會長名で臨時贈與したる救護金は一人宛一圓以上七圓以下にして市部十四名郡部二十六名の罹災者なり。

愛國婦人第二百十號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹內貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN